

# 文化に関する市民アンケート調査

## 調査結果報告書

平成 28 年 8 月

新潟市 文化スポーツ部 文化政策課



# < 目 次 >

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| I 調査概要                             | 1  |
| 1. 調査の目的                           | 3  |
| 2. 調査の項目                           | 3  |
| 3. 調査の設計                           | 3  |
| 4. 集計・分析にあたって                      | 3  |
| 5. 回収結果                            | 3  |
| 6. 回答者の特性                          | 4  |
| II 調査結果                            | 5  |
| 1. 文化創造都市について                      | 7  |
| （1）楽しんでいる文化活動の分野                   | 7  |
| （2）文化活動への参加状況                      | 11 |
| （3）「文化創造都市」のイメージ                   | 13 |
| （4）新潟市の文化の特徴だと思うもの                 | 16 |
| （5）文化以外で文化芸術を活かしてほしいこと             | 20 |
| （6）新潟市の文化政策に期待すること                 | 24 |
| 2. 水と土の文化創造都市について                  | 28 |
| （1）水と土の文化創造都市に関する取り組みの認知状況         | 28 |
| （2）水と土の文化創造都市に関する取り組みへの参加や利用経験     | 31 |
| 3. マンガ・アニメを活用したまちづくりについて           | 34 |
| （1）マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みの認知状況     | 34 |
| （2）マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みへの参加や利用経験 | 37 |
| （3）期待するマンガ・アニメを活用した効果について          | 40 |
| III 調査票様式                          |    |



# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

この調査は、「新潟市文化創造都市ビジョン（平成 23 年度策定）」の見直しにあたり、市民の文化活動状況や今後の文化施策に対する意向を把握し、基礎資料を得る目的で実施する。

## 2. 調査の項目

- |                           |         |          |
|---------------------------|---------|----------|
| (1) 対象者属性                 | 本質問 5 問 |          |
| (2) 文化創造都市について            | 本質問 5 問 | 補助質問 1 問 |
| (3) 水と土の文化創造都市について        | 本質問 2 問 |          |
| (4) マンガ・アニメを活用したまちづくりについて | 本質問 3 問 |          |

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 : 新潟市全域
- (2) 調査対象 : 住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の市民
- (3) 標本数 : 3,000 人
- (4) 抽出方法 : 層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの抽出）
- (5) 調査方法 : 郵送法（調査票の配付、回収とも）及び Web 回答（回収のみ）
- (6) 調査期間 : 平成 28 年 7 月 29 日～8 月 15 日（調査票上の締切日）

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 職業別は、次のように分類した。

|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 自<br>営<br>業           | { | 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者）<br>商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店・修理店など）<br>自由業（開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など）              |
| 家<br>族<br>従<br>業<br>者 | { | 農・林・漁業（農業・林業・漁業の家業を継続的に手伝っている人）<br>商・工・サービス業（商・工・サービス業の家業を継続的に手伝っている人）<br>自由業（自由業の家業を継続的に手伝っている人） |
| 勤<br>め<br>人           | { | 管理職（民間会社・官公庁の課長職以上）<br>事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）<br>技能・労務職（技能工・販売店員・外交員など）                         |
| 無<br>職                | { | 家事専業<br>学生<br>その他   |

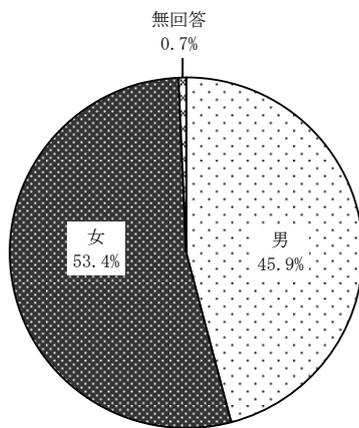
- (4) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

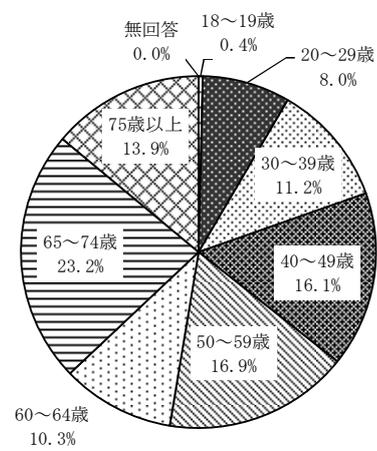
回収数=1,023 件（内、白票 5 件）、有効回収数=1,018 件、有効回収率=33.9%。

6. 回答者の特性

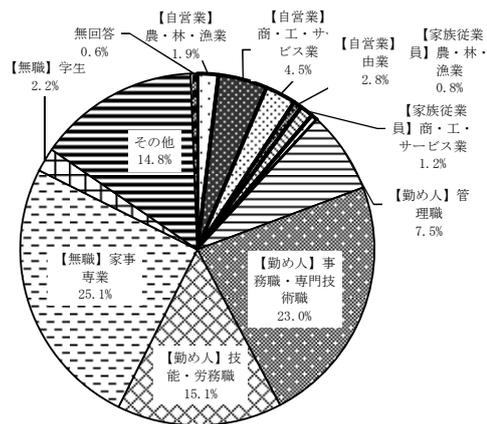
◆性別



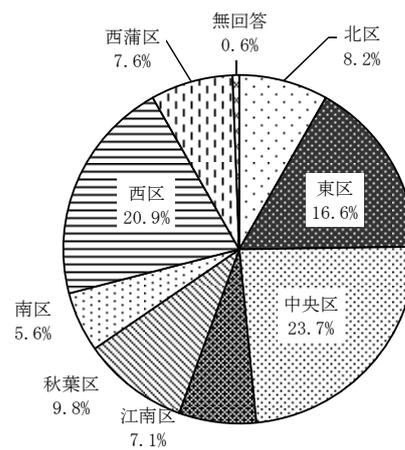
◆年齢別



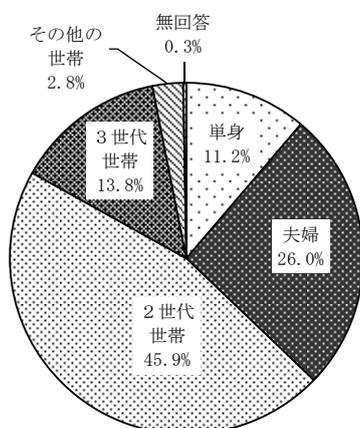
◆職業別



◆地区別



◆世帯構成別

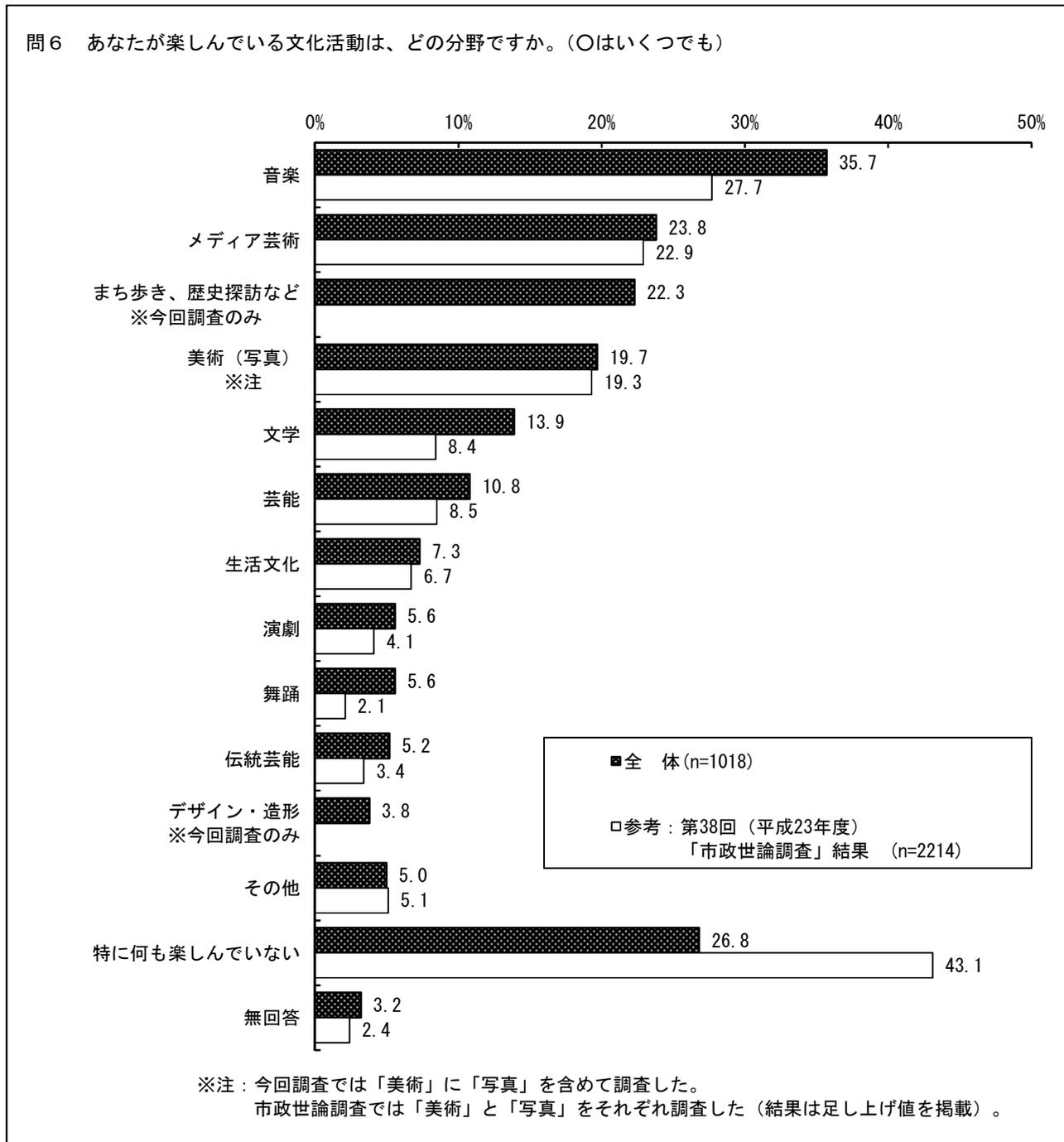


## II 調 査 結 果



# 1. 文化創造都市について

## (1) 楽しんでいる文化活動の分野



「音楽」を楽しんでいる人が最も多い

### 【全体結果】

楽しんでいる文化活動の分野 (複数回答) については、「音楽」の割合 (35.7%) が最も高く、「メディア芸術」 (23.8%) が次いで高い。以下、「まち歩き、歴史探訪など」 (22.3%)、「美術」 (19.7%) が続いている。また、第38回市政世論調査と比較すると、楽しんでいる割合が比較可能な全ての分野で高くなっており、「何も楽しんでいない」の割合は15%以上低くなっている。

【属性別結果】（図 1-1 参照）

①性別

全体的に女性の方が男性よりも各分野で文化活動を楽しんでいる割合が高いものが多い中、「芸能」や「まち歩き、歴史探訪など」は男性の方が女性よりも割合が高い。また、「特に何も楽しんでいない」の割合も男性が女性を上回っている。

②年齢別

※該当数のかなり少ない属性もあるため傾向を述べるにとどめる（居住区別も含めて以降同様）。

「音楽」は20代と50代で半数を超えている。「メディア芸術」は年齢層が下がるほど割合が高くなる傾向がみられる。

一方で、「生活文化」は年齢層が上がるほど割合が高くなる傾向がみられる。

③地区別

北区では「メディア芸術」の割合が3割を超えている。

図 1-1 楽しんでいる文化活動の分野 1/3

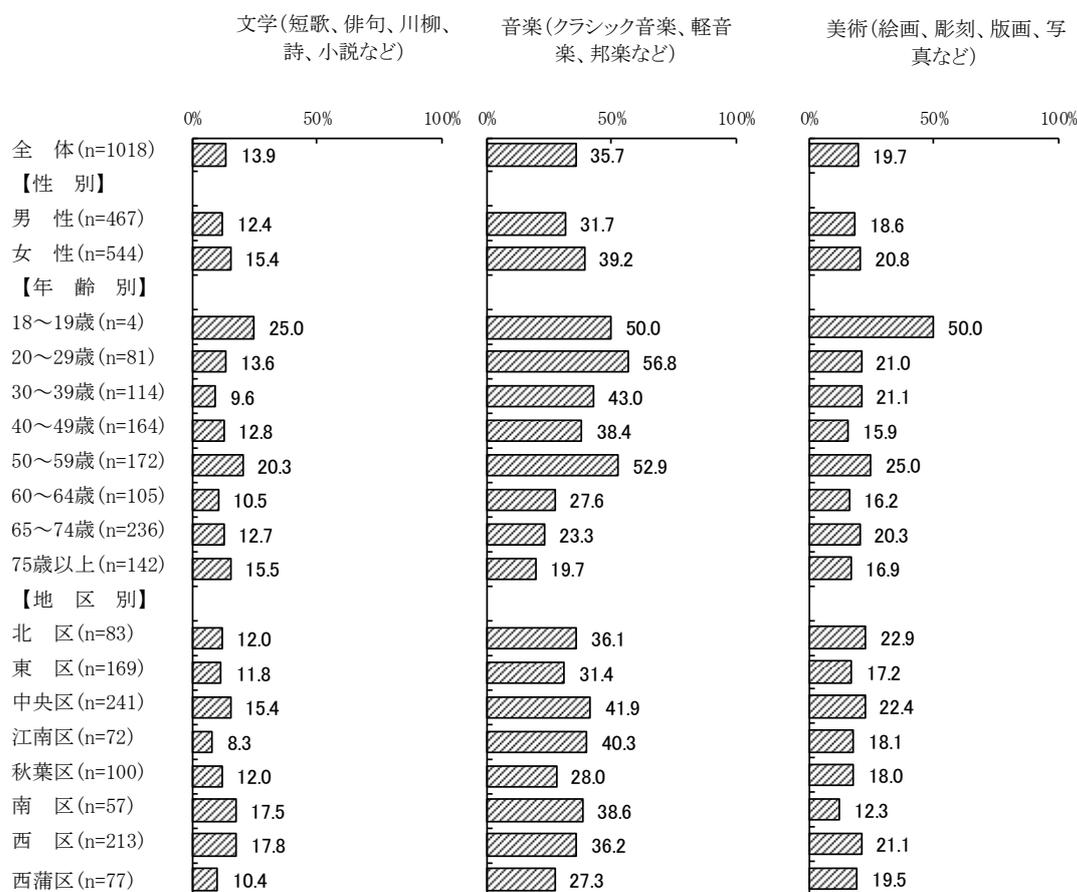


図1-1 楽しんでいる文化活動の分野 2/3

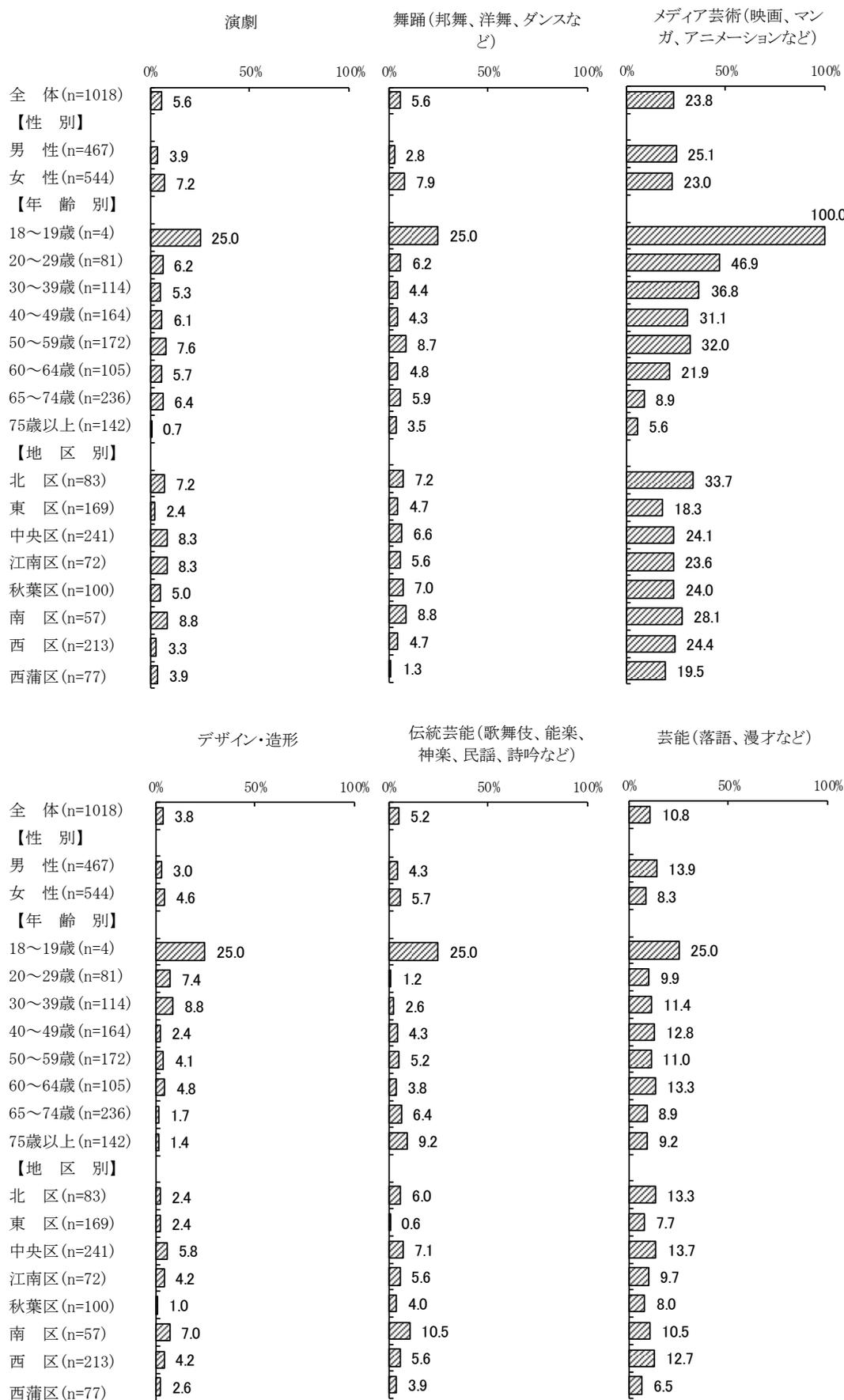
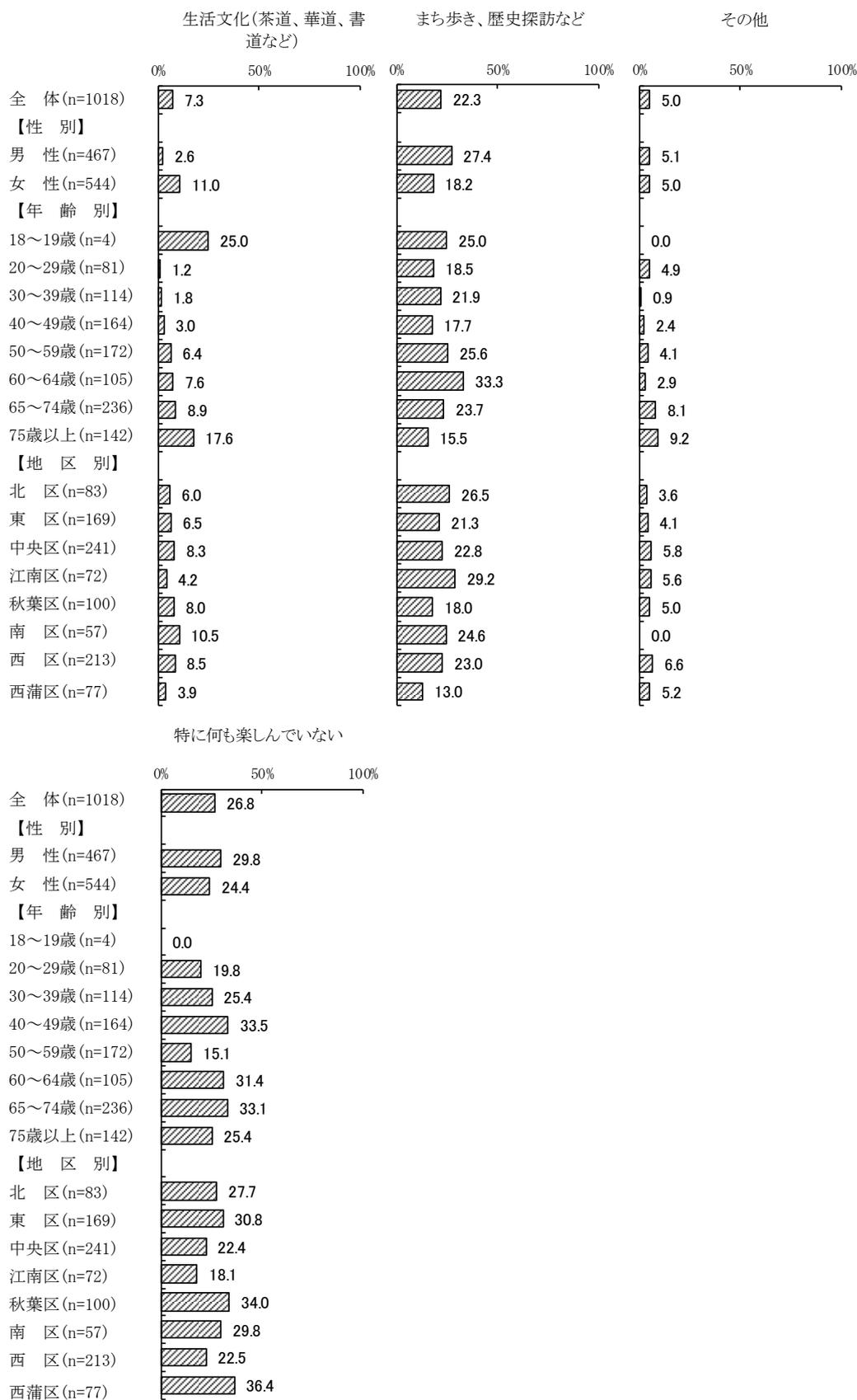


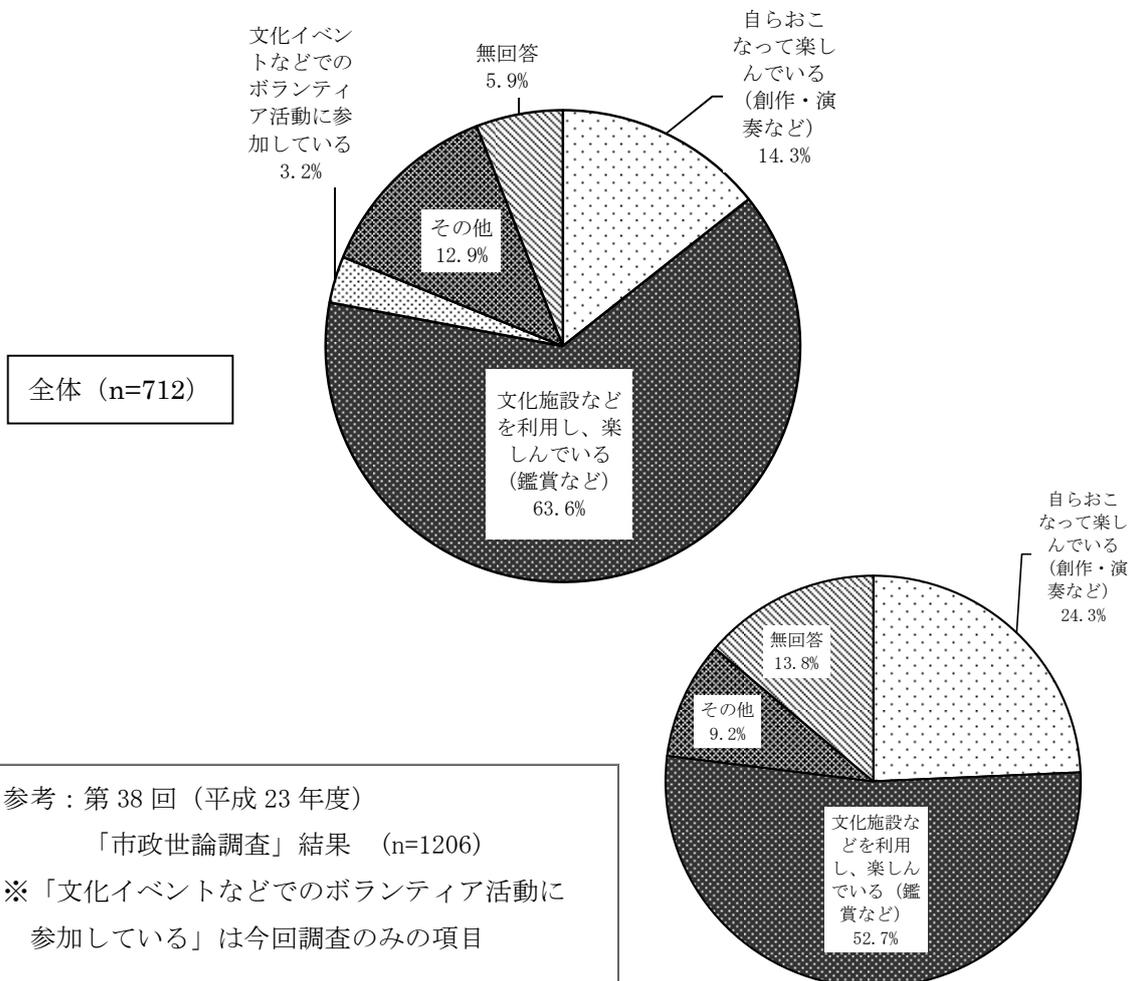
図 1-1 楽しんでいる文化活動の分野 3/3



(2) 文化活動への参加状況

(問6で(楽しんでいる文化活動がある方)への該当質問)

問7 あなたは日ごろ文化活動に参加していますか。(○は1つだけ)



「文化施設などを利用し、楽しんでいる」が最も多い

【全体結果】

前問の問6で『楽しんでいる文化活動のある方』712人に文化活動への参加状況を聞いた。

「文化施設などを利用し、楽しんでいる」が6割以上を占めている。また、第38回市政世論調査と比較すると、「文化施設などを利用し、楽しんでいる」の割合は10%以上高くなっている。

【属性別結果】(図1-2参照)

①性別

男女による、大きな差はない。

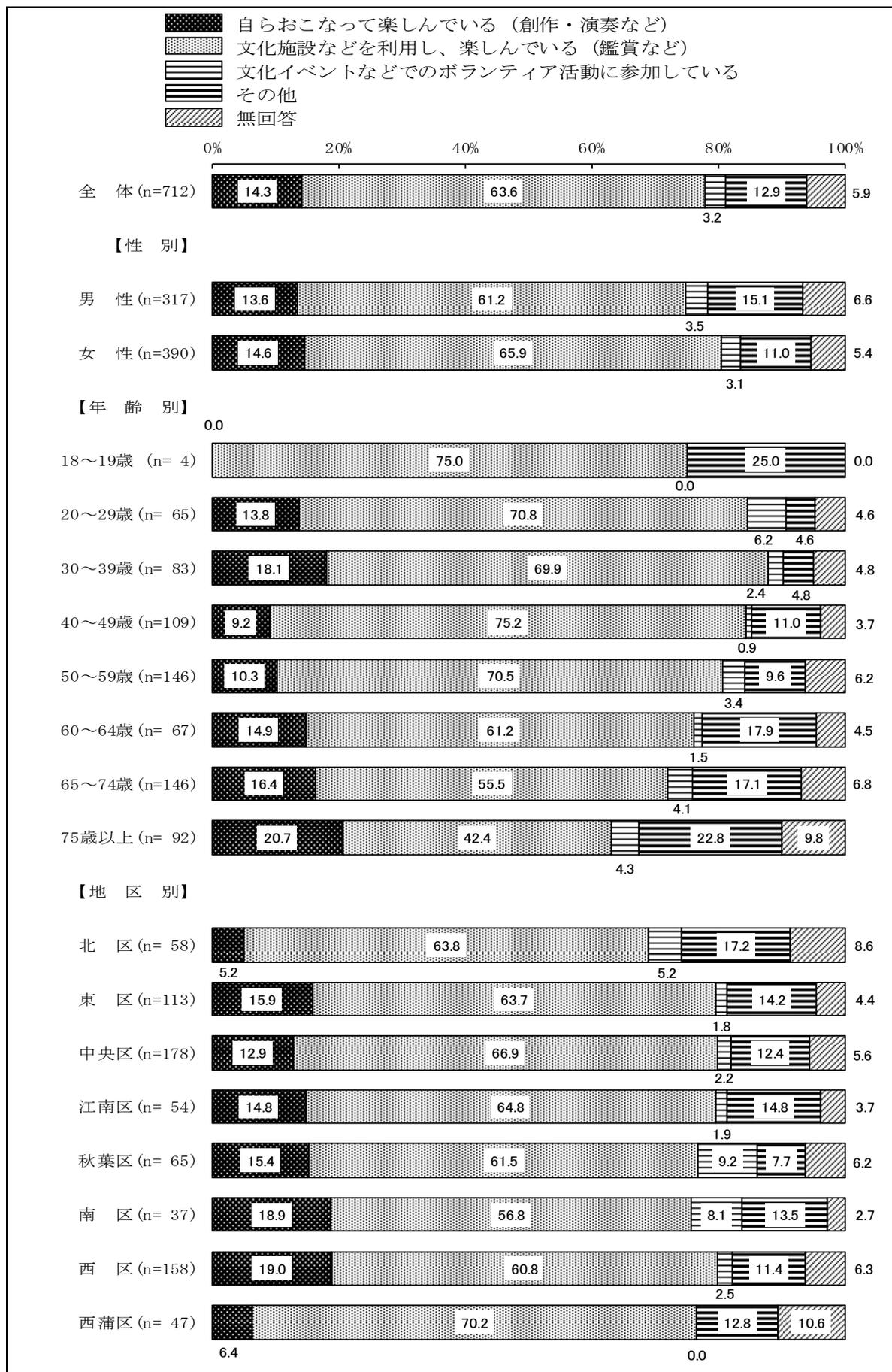
②年齢別

40代の約4人に3人は文化施設などを利用し、楽しんでいる。

③地区別

全体結果で多数を占めた「文化施設などを利用し、楽しんでいる」についてみると、最も割合の高かった区は西蒲区、最も低かった区は南区である。

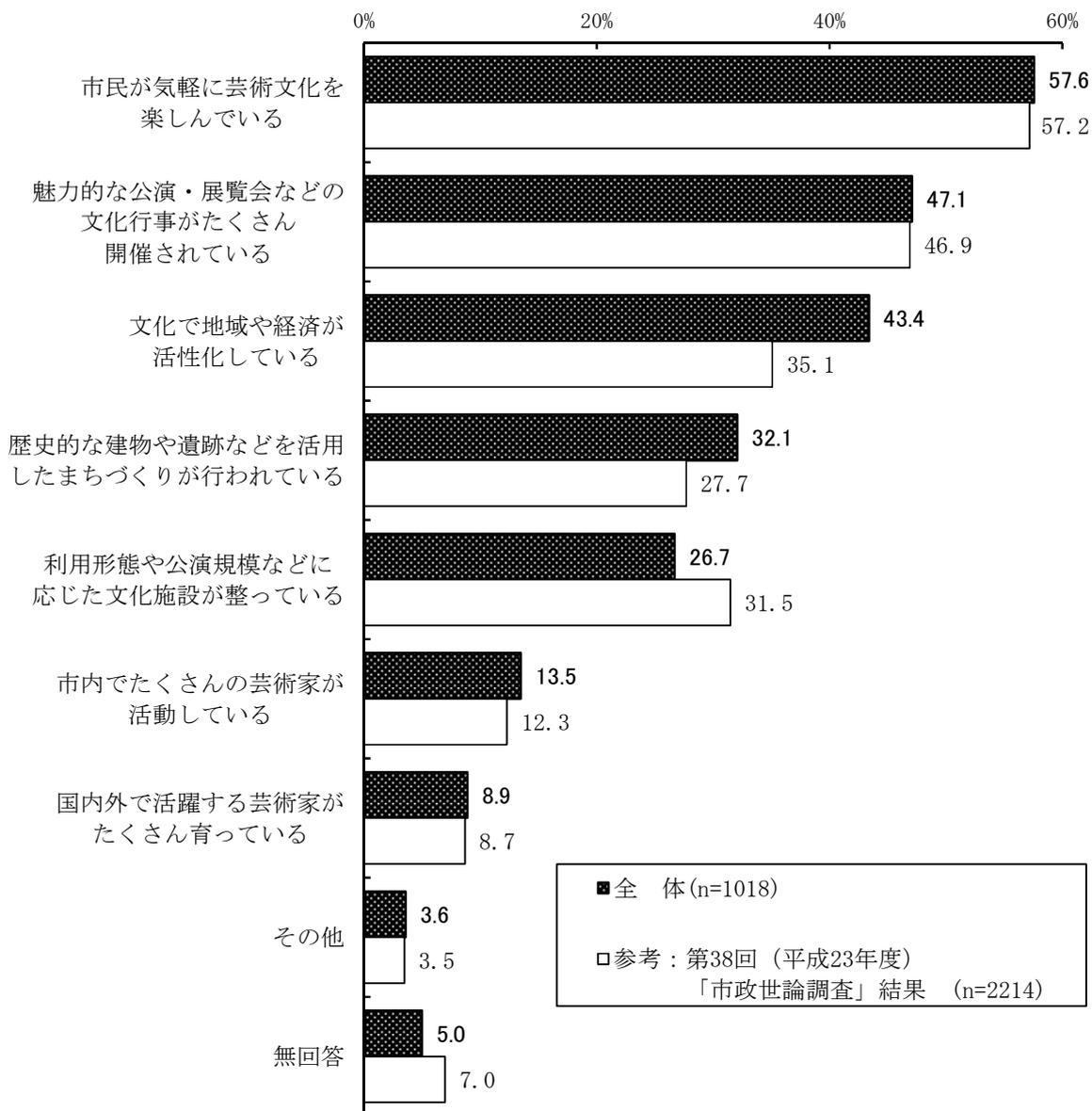
図 1-2 文化活動への参加状況



(3) 「文化創造都市」のイメージ

問8 「文化創造都市」という言葉から、あなたがイメージするものに近いものはどれですか。

(〇はいくつでも)



「市民が気軽に芸術文化を楽しんでいる」が半分以上

【全体結果】

「文化創造都市」という言葉のイメージ（複数回答）については、「市民が気軽に芸術文化を楽しんでいる」の割合（57.6%）が最も高く、「魅力的な公演・展覧会などの文化行事がたくさん開催されている」（47.1%）が次いで高い。以下、「文化で地域や経済が活性化している」（43.4%）、「歴史的な建物や遺跡などを活用したまちづくりが行われている」（32.1%）、「利用形態や公演規模などに応じた文化施設が整っている」（26.7%）が続いている。また、第38回市政世論調査と比較すると、「文化で地域や経済が活性化している」の割合は約8%高くなっている。

【属性別結果】（図 1-3 参照）

①性別

「市民が気軽に芸術文化を楽しんでいる」、「魅力的な公演・展覧会などの文化行事がたくさん開催されている」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

②年齢別

全体結果の最上位項目である「市民が気軽に芸術文化を楽しんでいる」についてみると、20代のみ4割台となっている。

③地区別

全体結果の上位3項目である「市民が気軽に芸術文化を楽しんでいる」、「魅力的な公演・展覧会などの文化行事がたくさん開催されている」、「文化で地域や経済が活性化している」についてみると、いずれの項目とも西蒲区が最も低くなっている。

図 1-3 「文化創造都市」のイメージ 1/2

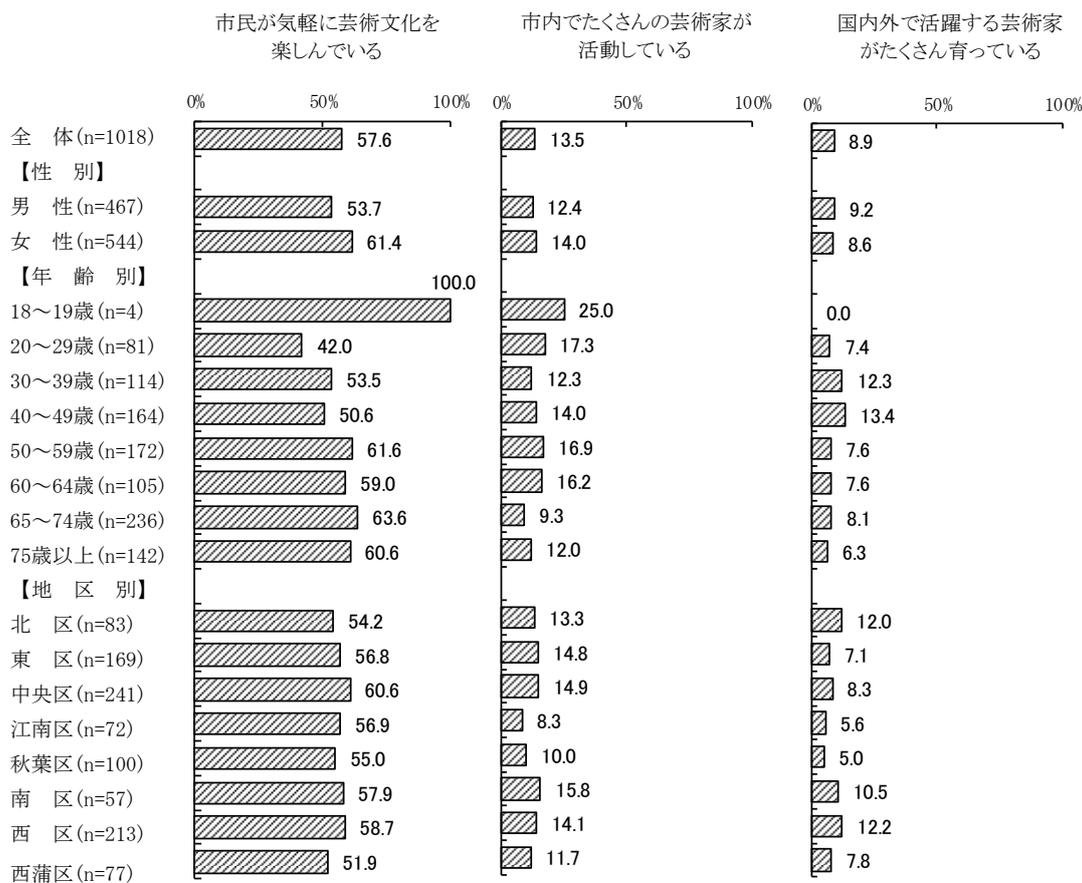
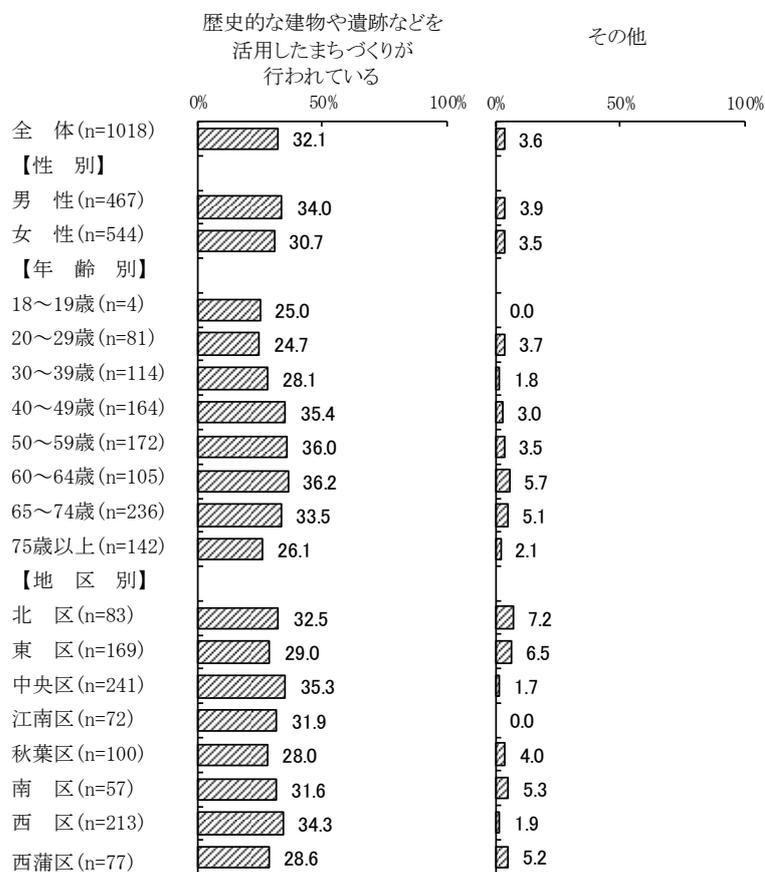
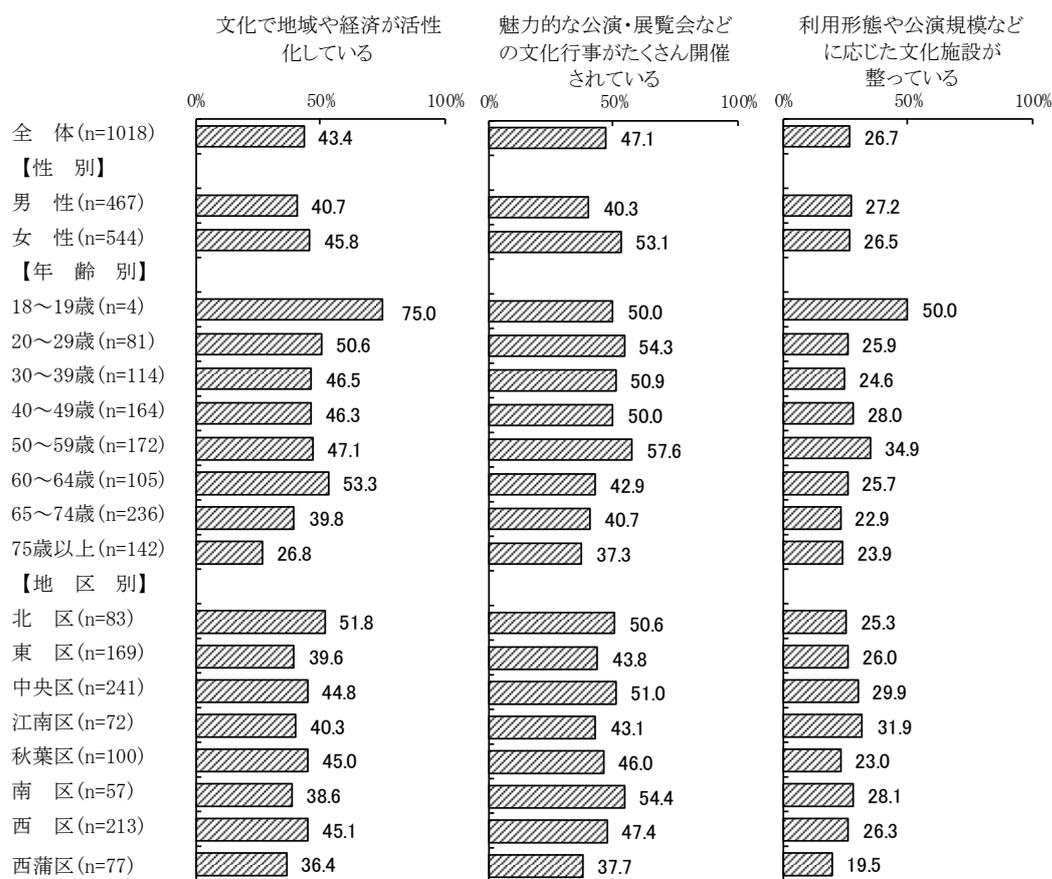
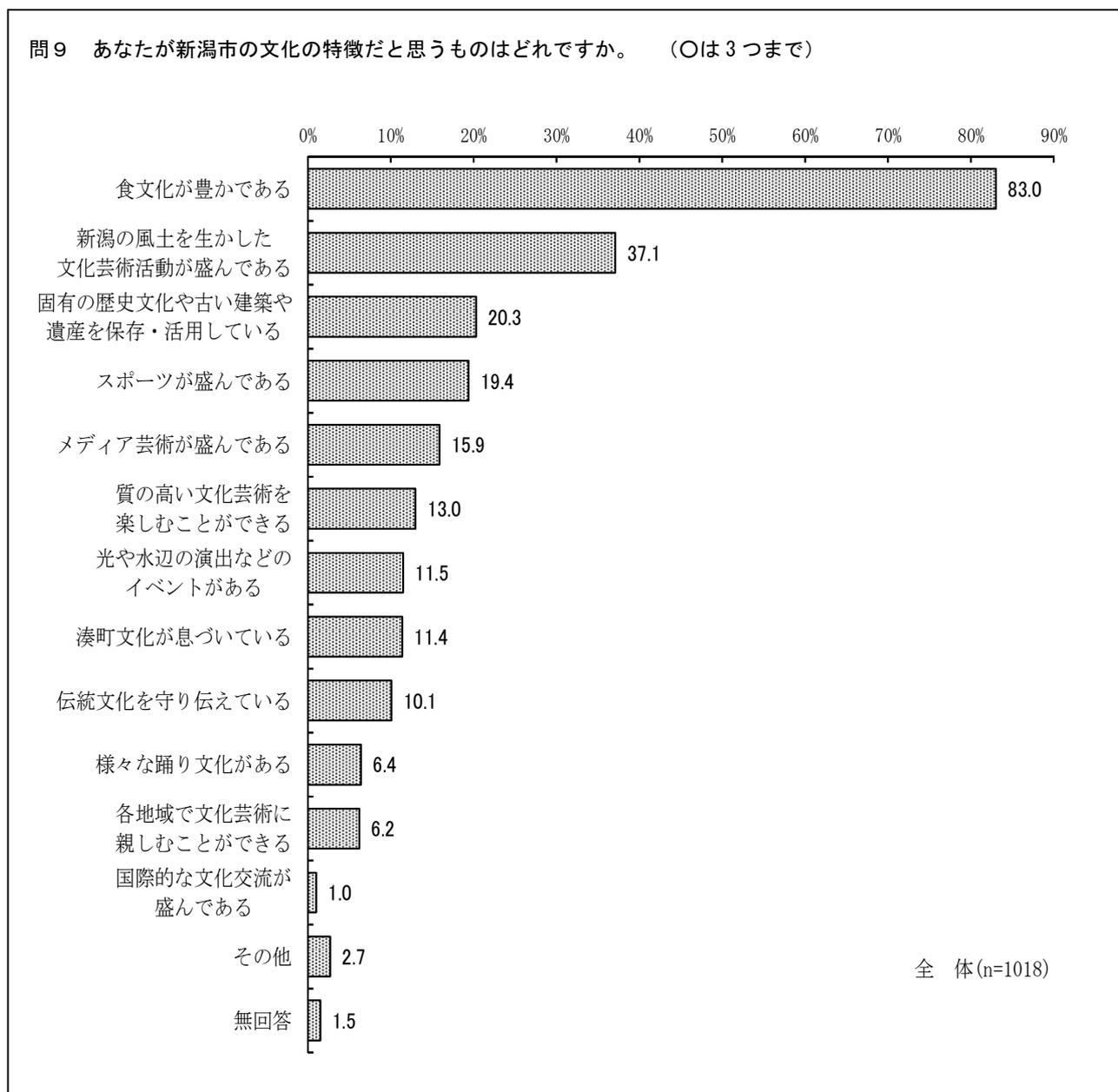


図 1-3 「文化創造都市」のイメージ 2/2



(4) 新潟市の文化の特徴だと思うもの



「食文化が豊かである」が8割強

【全体結果】

新潟市の文化の特徴(複数回答)については、「食文化が豊かである」の割合(83.0%)がかなり高い。以下、割合は大きく下がり、「新潟の風土を生かした文化芸術活動が盛んである」(37.1%)、「固有の歴史文化や古い建築や遺産を保存・活用している」(20.3%)、「スポーツが盛んである」(19.4%)が続いている。

【属性別結果】（図 1-4 参照）

①性別

「新潟の風土を生かした文化芸術活動が盛んである」の割合は、女性の方が男性よりも 10.8 ポイント高くなっている。

②年齢別

「食文化が豊かである」の割合が全体 83.0%を下回ったのは、75 歳以上（74.6%）だけである。

③地区別

いずれの地区でも、年齢別同様に「食文化が豊かである」の割合がかなり高い。

図 1-4 新潟市の文化の特徴だと思うもの 1/3

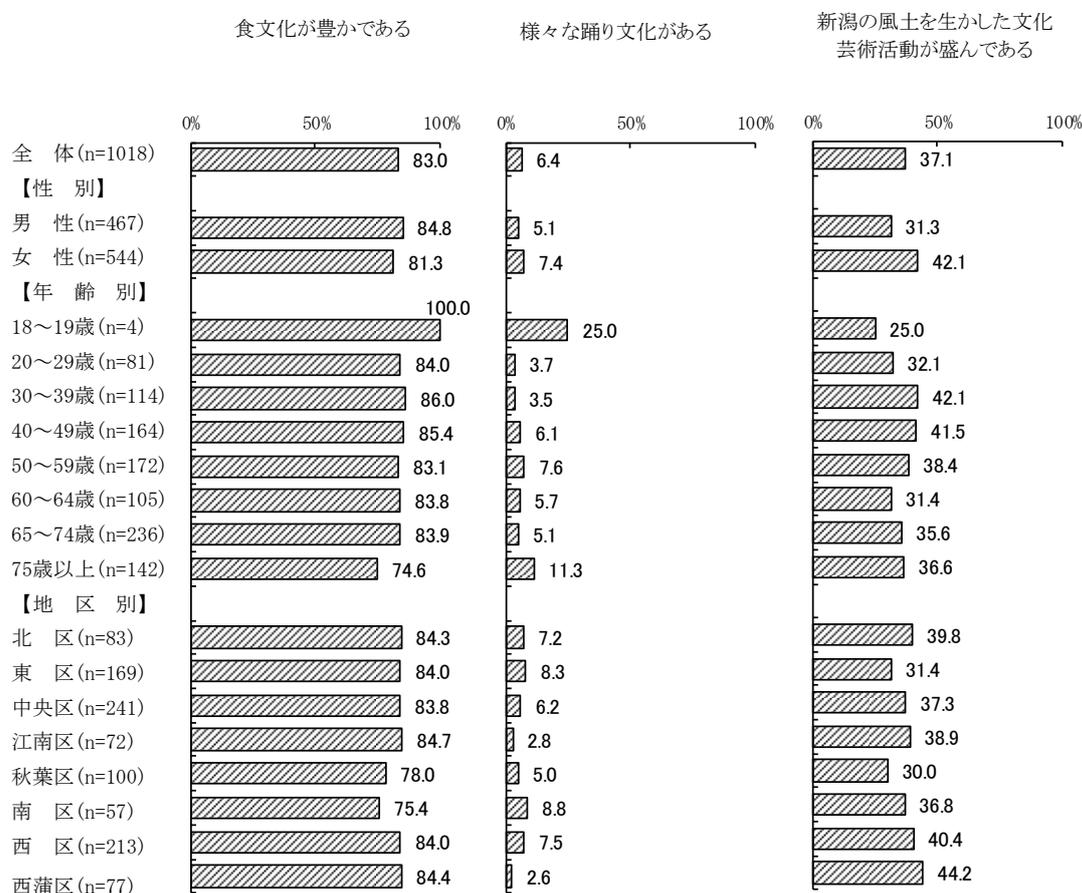
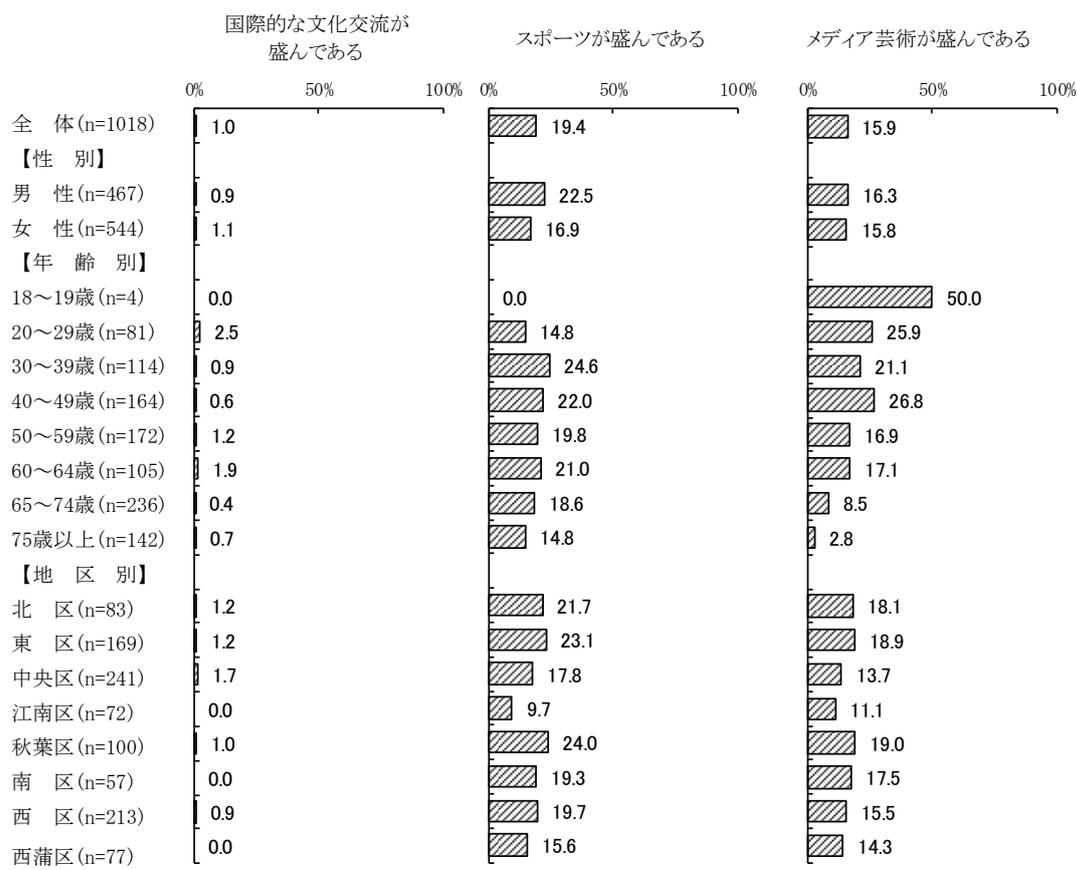
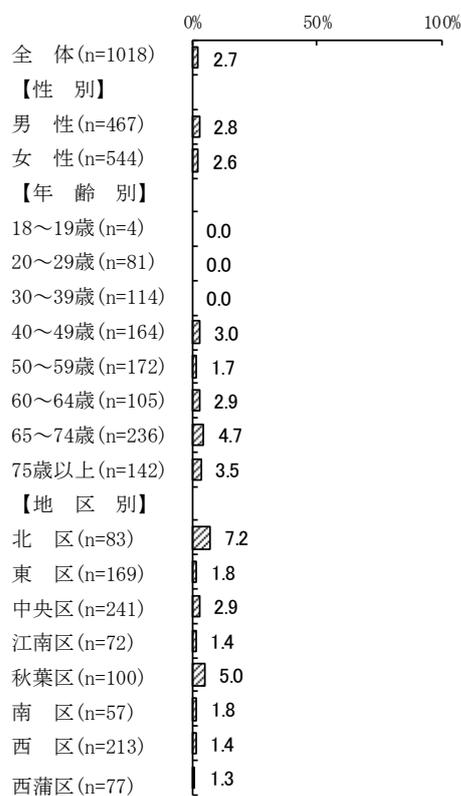




図 1-4 新潟市の文化の特徴だと思うもの 3/3



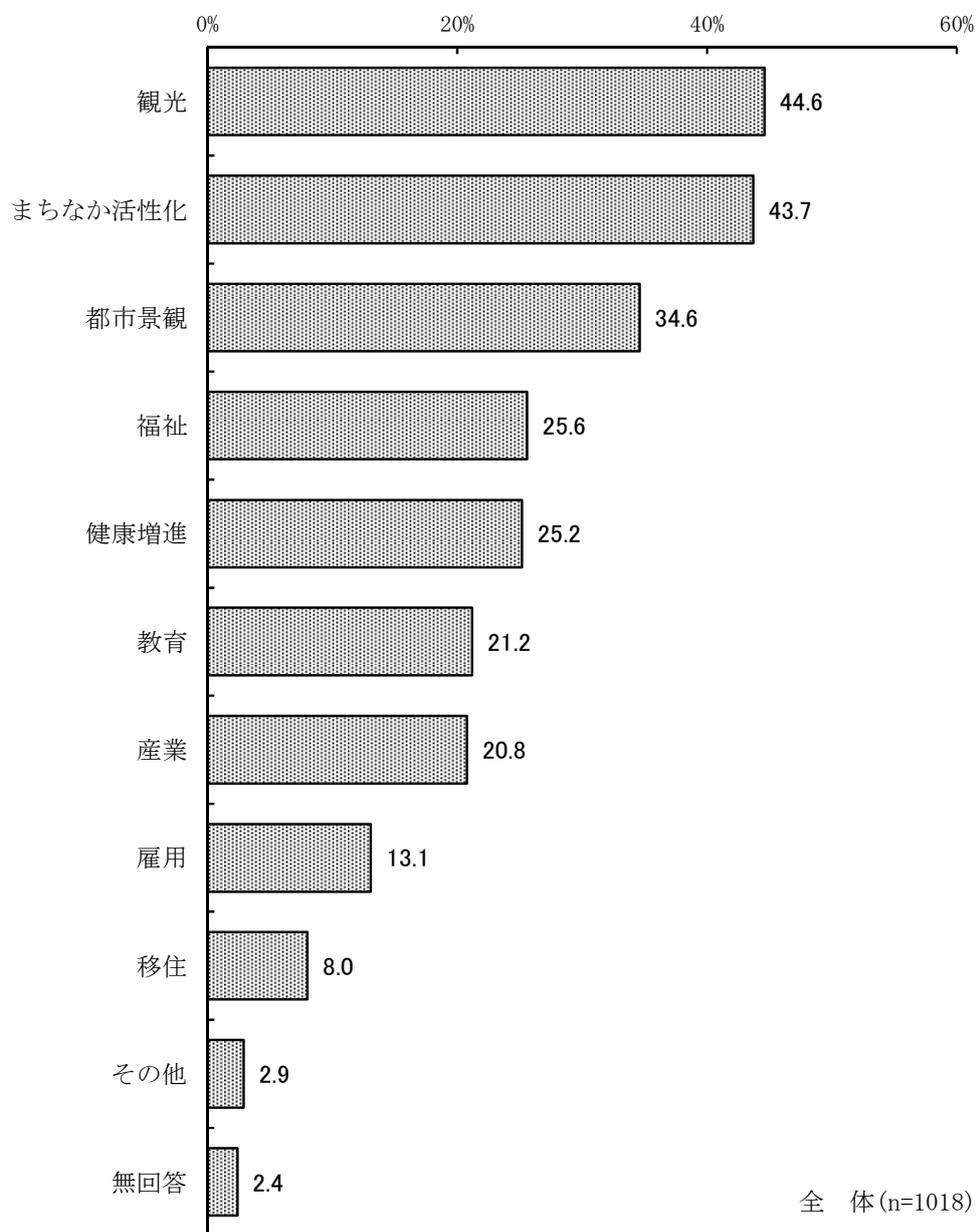
その他



## (5) 文化以外の分野で文化芸術を活かしてほしいこと

問10 あなたが文化以外の分野で文化芸術を活かしてほしいと思うものはどれですか。

(○は3つまで)



「観光」や「まちなか活性化」への要望が特に多い

## 【全体結果】

文化以外の分野で文化芸術を活かしてほしいと思うもの（複数回答）については、「観光」や「まちなか活性化」が4割を超えている。以下、「都市景観」（34.6%）、「福祉」（25.6%）、「健康増進」（25.2%）、「教育」（21.2%）、「産業」（20.8%）の順で続いている。

【属性別結果】（図 1-5 参照）

①性別

「観光」や「都市景観」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

②年齢別

20代・30代は「観光」の割合が他の年代層よりも高くなっている。

③地区別

「まちなか活性化」については中央区で5割を超えている。

図 1-5 文化以外の分野で文化芸術を活かしてほしいこと 1/3

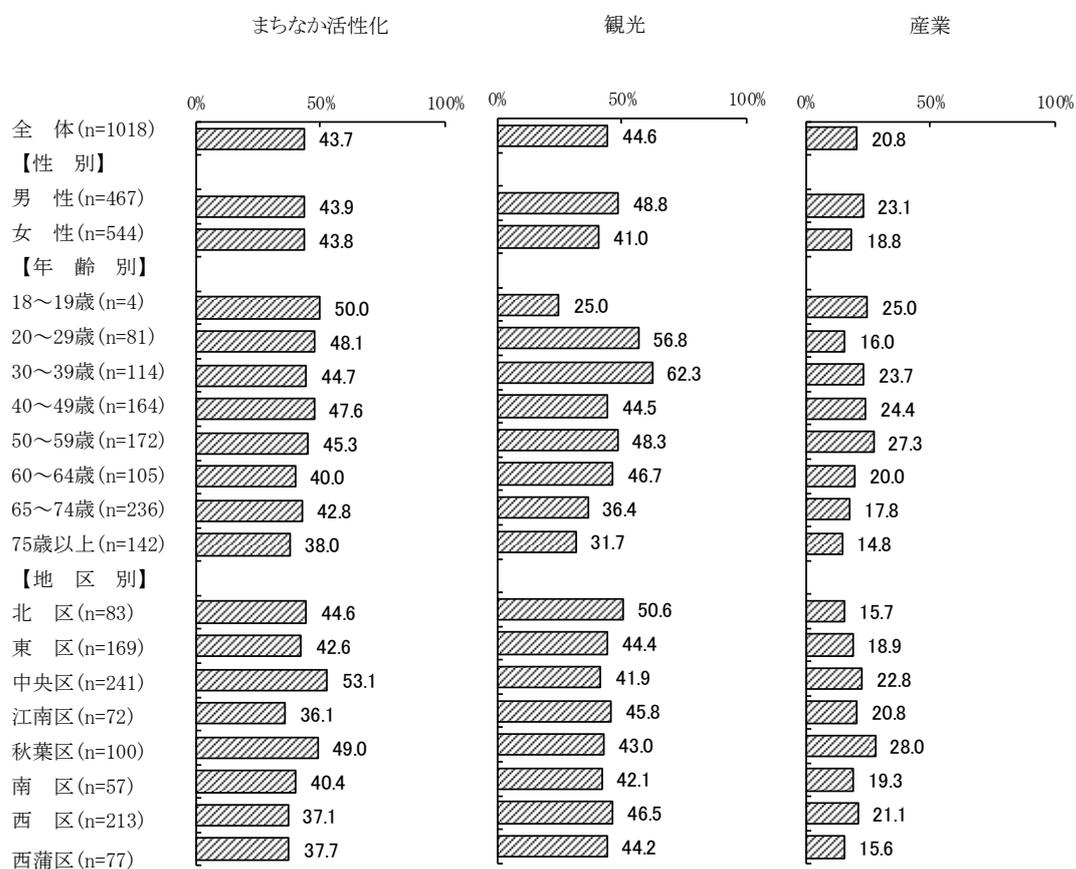


図1-5 文化以外の分野で文化芸術を活かしてほしいこと 2/3

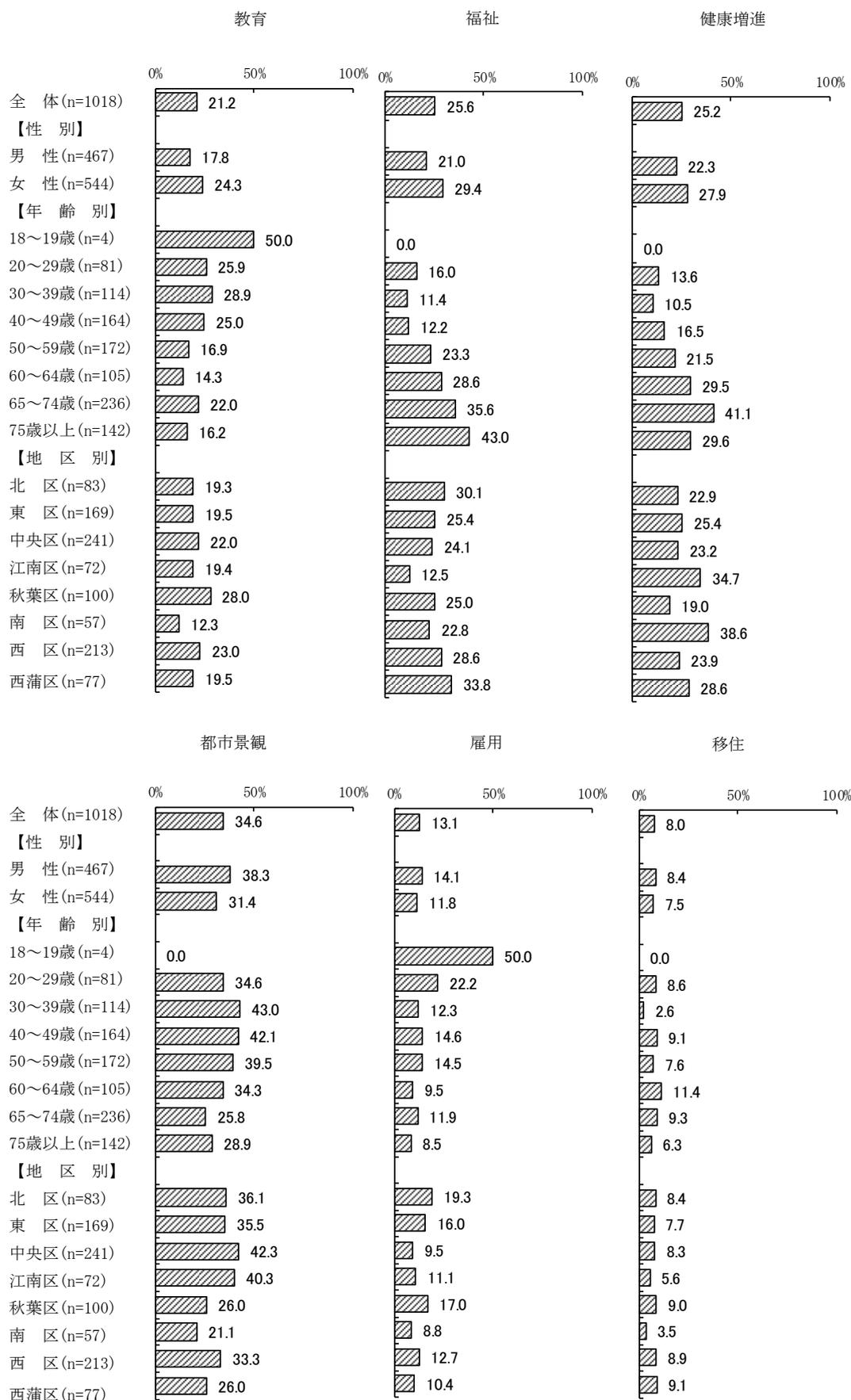
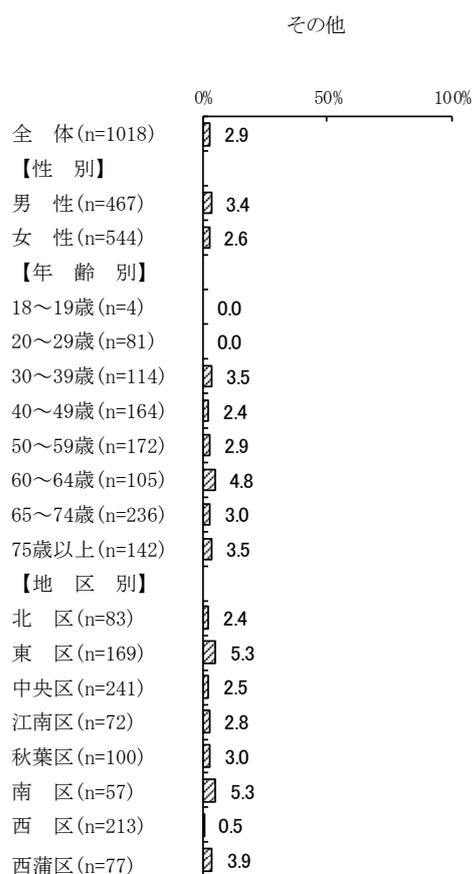
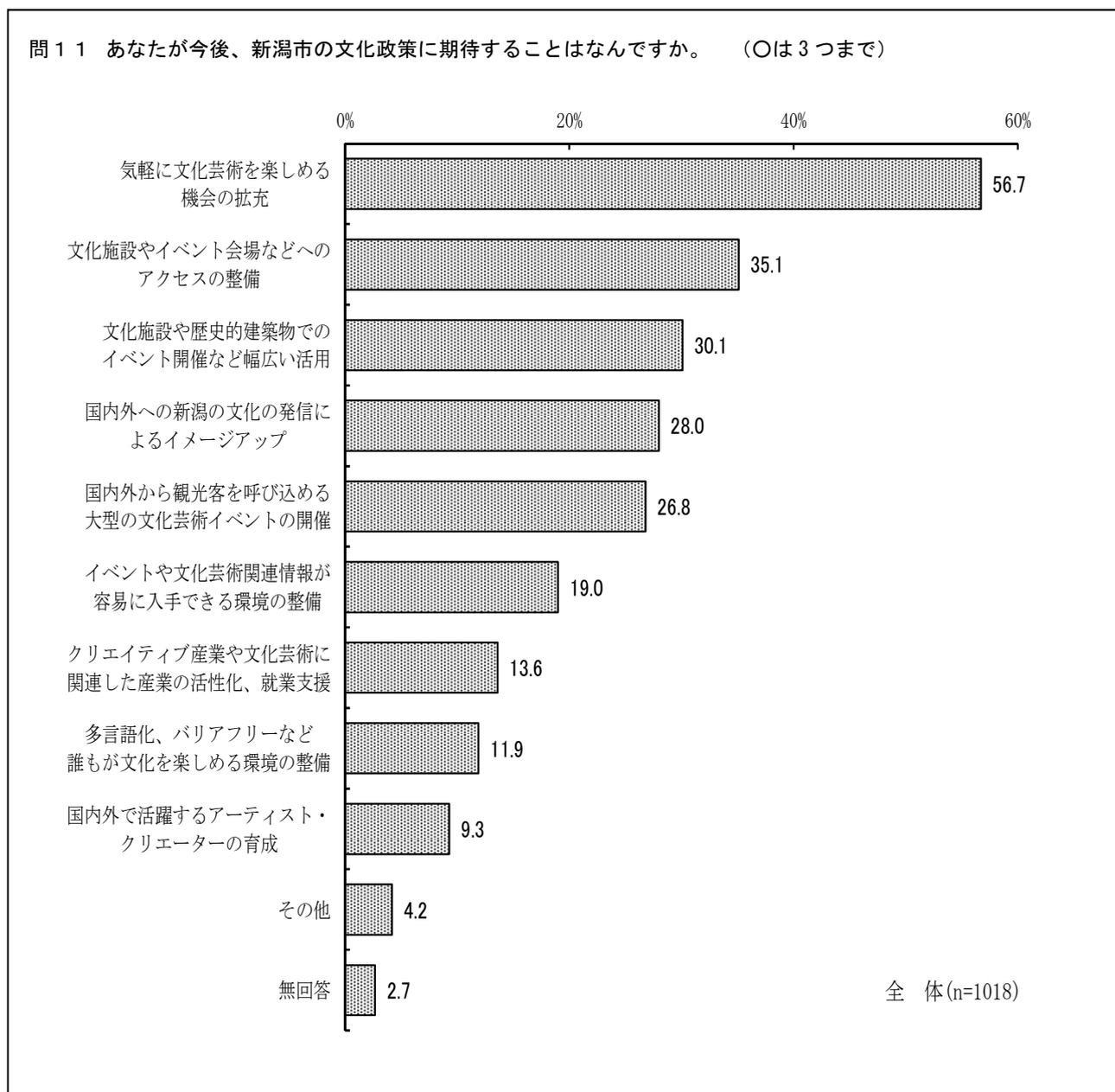


図1-5 文化以外の分野で文化芸術を活かしてほしいこと 3/3



(6) 新潟市の文化政策に期待すること



「気軽に文化芸術を楽しめる機会の拡充」が過半数

【全体結果】

新潟市の文化政策に期待すること（複数回答）については、「気軽に文化芸術を楽しめる機会の拡充」（56.7%）が最も高い。以下、「文化施設やイベント会場へのアクセスの整備」（35.1%）、「文化施設や歴史的建築物でのイベント開催など幅広い活用」（30.1%）、「国内外への新潟の文化の発信によるイメージアップ」（28.0%）、「国内外から観光客を呼び込める大型の文化芸術イベントの開催」（26.8%）、「イベントや文化芸術関連情報が容易に入手できる環境の整備」（19.0%）が続いている。

【属性別結果】（図 1-6 参照）

①性別

「気軽に文化芸術を楽しめる機会の拡充」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。一方で、「国内外から観光客を呼び込める大型の文化芸術イベントの開催」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

②年齢別

「気軽に文化芸術を楽しめる機会の拡充」は 65 歳～74 歳では 7 割を超えている。

③地区別

全体結果で最も割合の高かった「気軽に文化芸術を楽しめる機会の拡充」については、中央区の割合が最も高くなっている。

図 1-6 新潟市の文化政策に期待すること 1/3

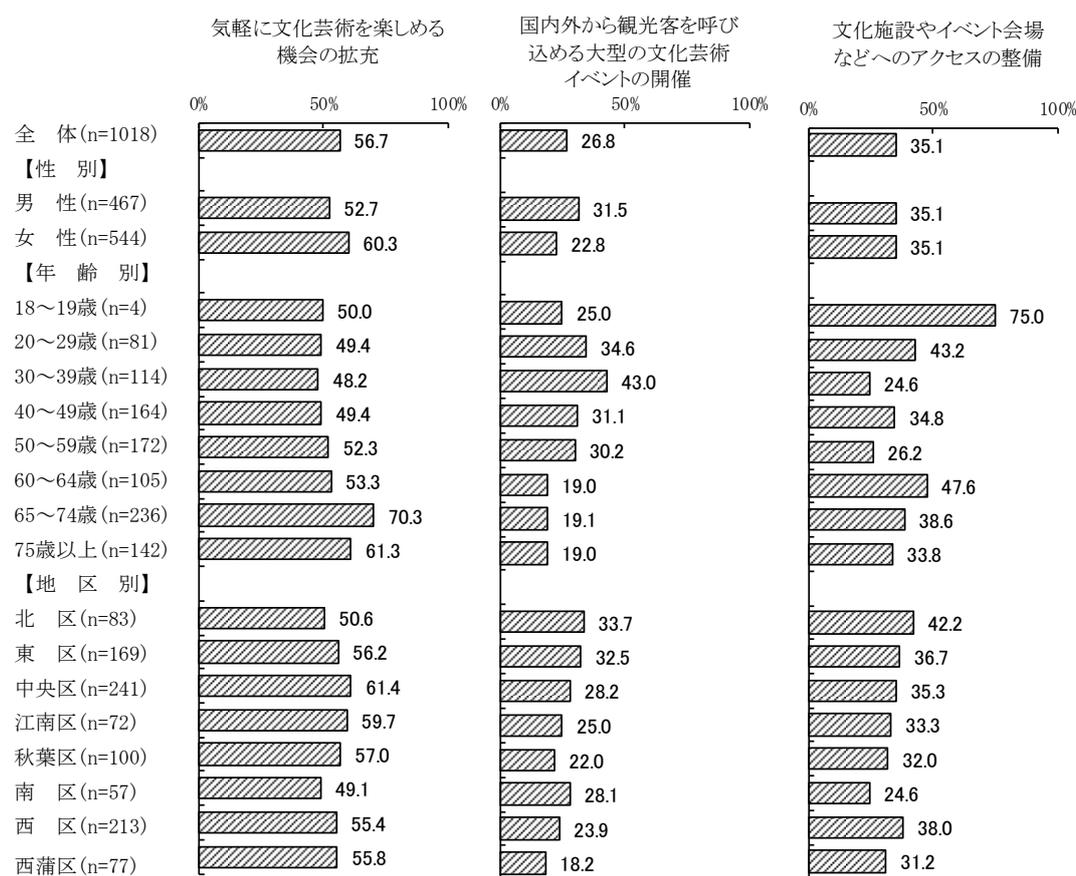


図1-6 新潟市の文化政策に期待すること 2/3

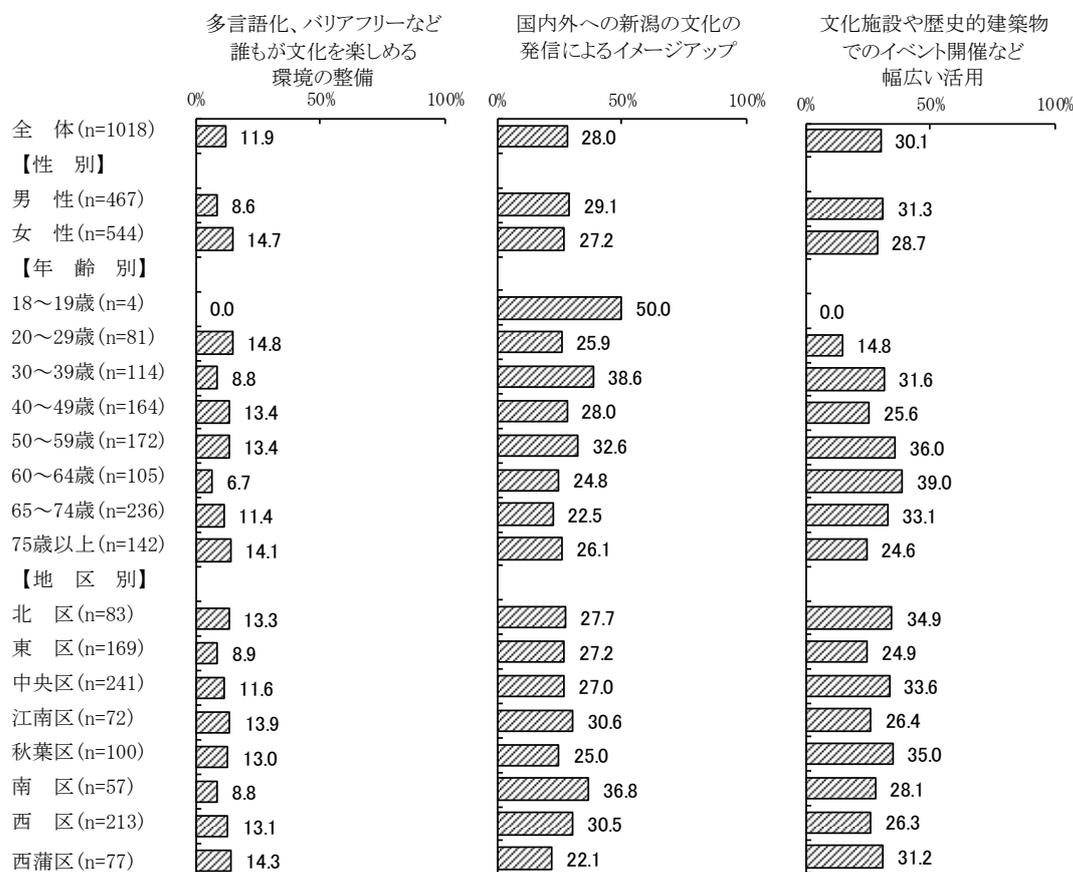
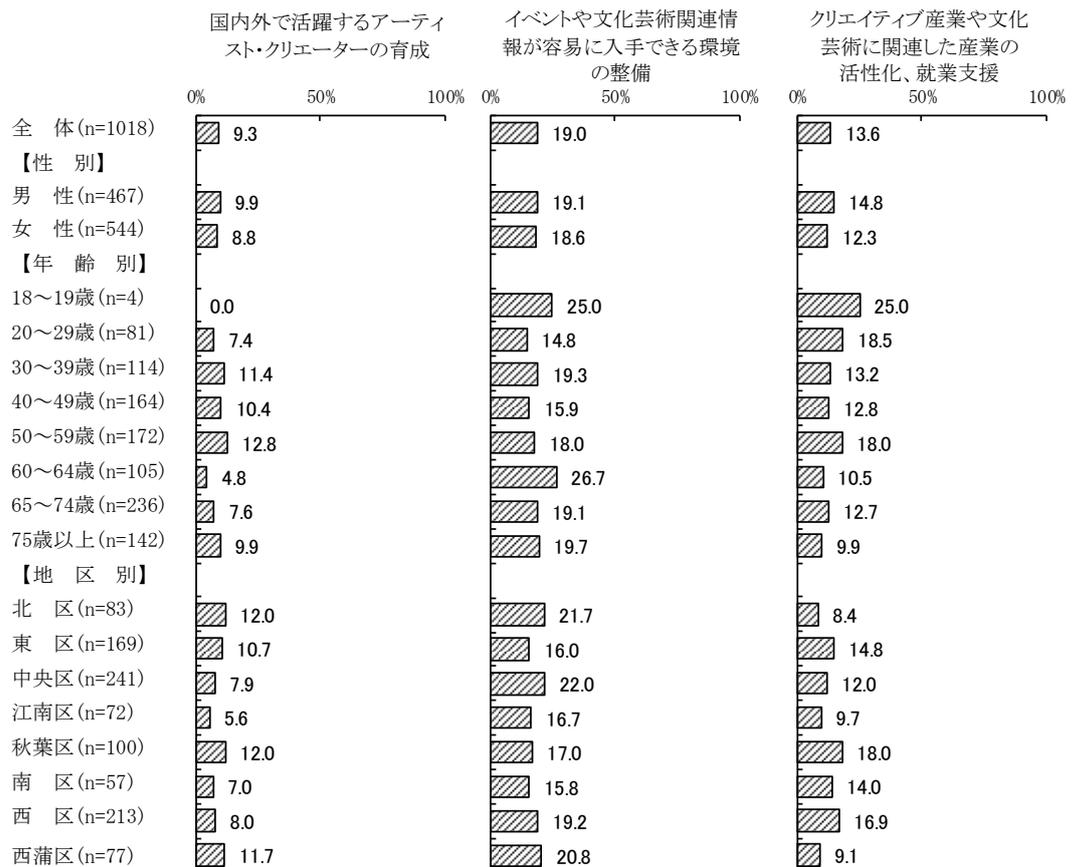
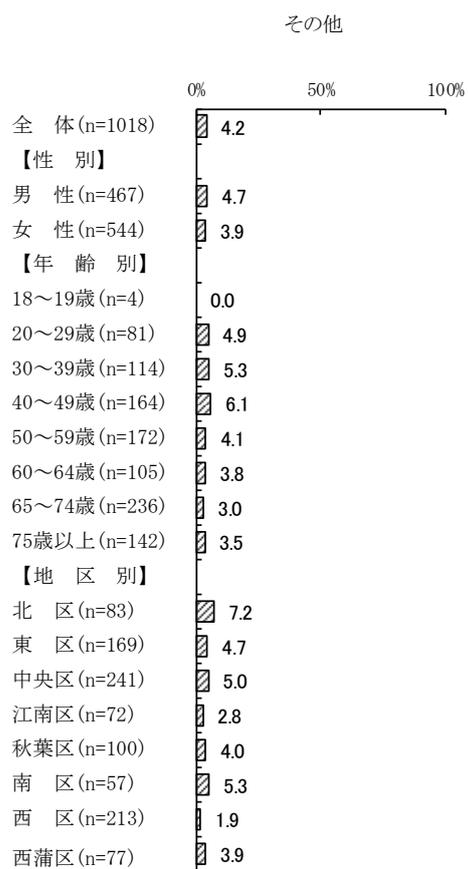
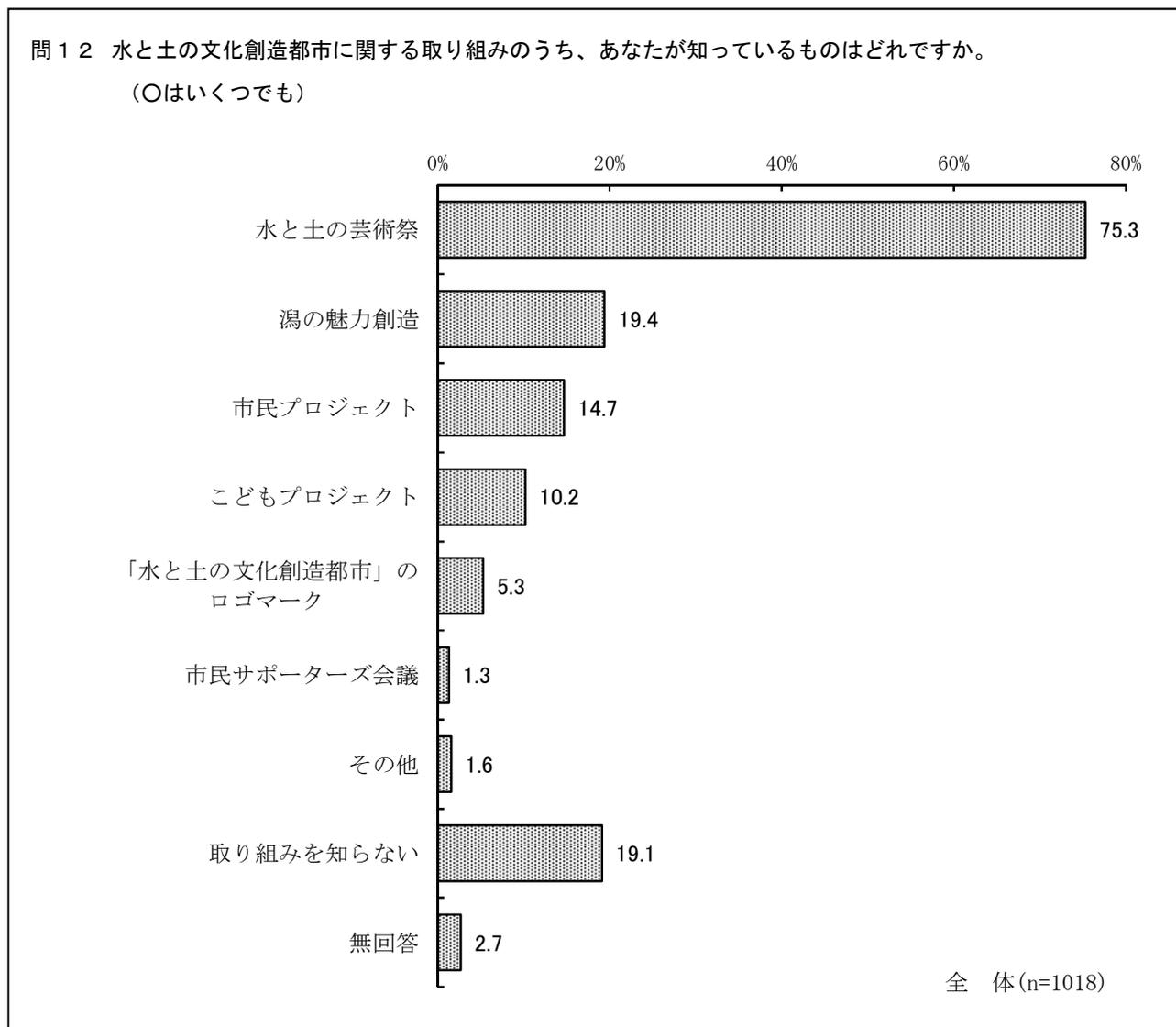


図1-6 新潟市の文化政策に期待すること 3/3



## 2. 水と土の文化創造都市について

### (1) 水と土の文化創造都市に関する取り組みの認知状況



「水と土の芸術祭」の認知が7割強で抜き出ている

#### 【全体結果】

水と土の文化創造都市に関する取り組みの認知状況（複数回答）については、「水と土の芸術祭」が7割強で最も高く、他の取り組みは2割に満たない。

【属性別結果】（図 2-1 参照）

①性別

男女による、大きな差はない。

②年齢別

30代～50代では「水と土の芸術祭」の認知者が8割を超えている。

③地区別

「水と土の芸術祭」の認知者の割合が最も高かったのは西区、最も低かったのは西蒲区である。

図 2-1 水と土の文化創造都市に関する取り組みの認知状況 1/2

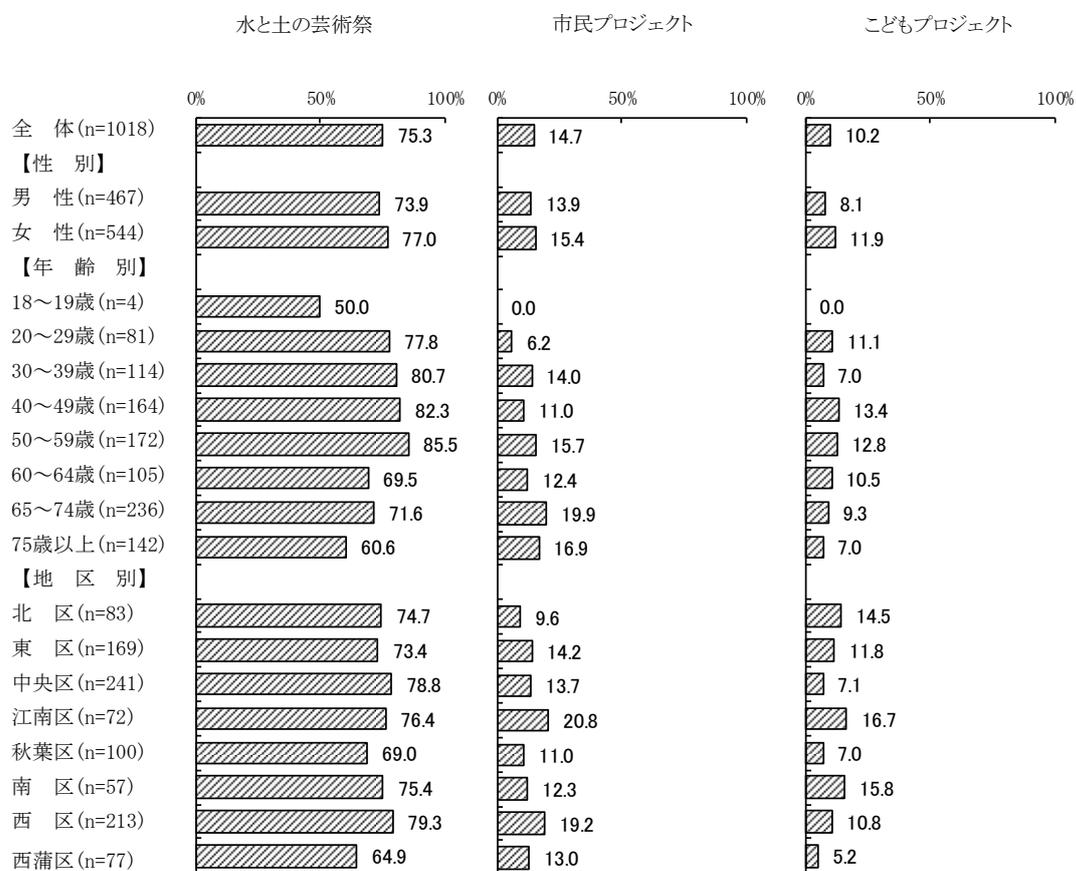
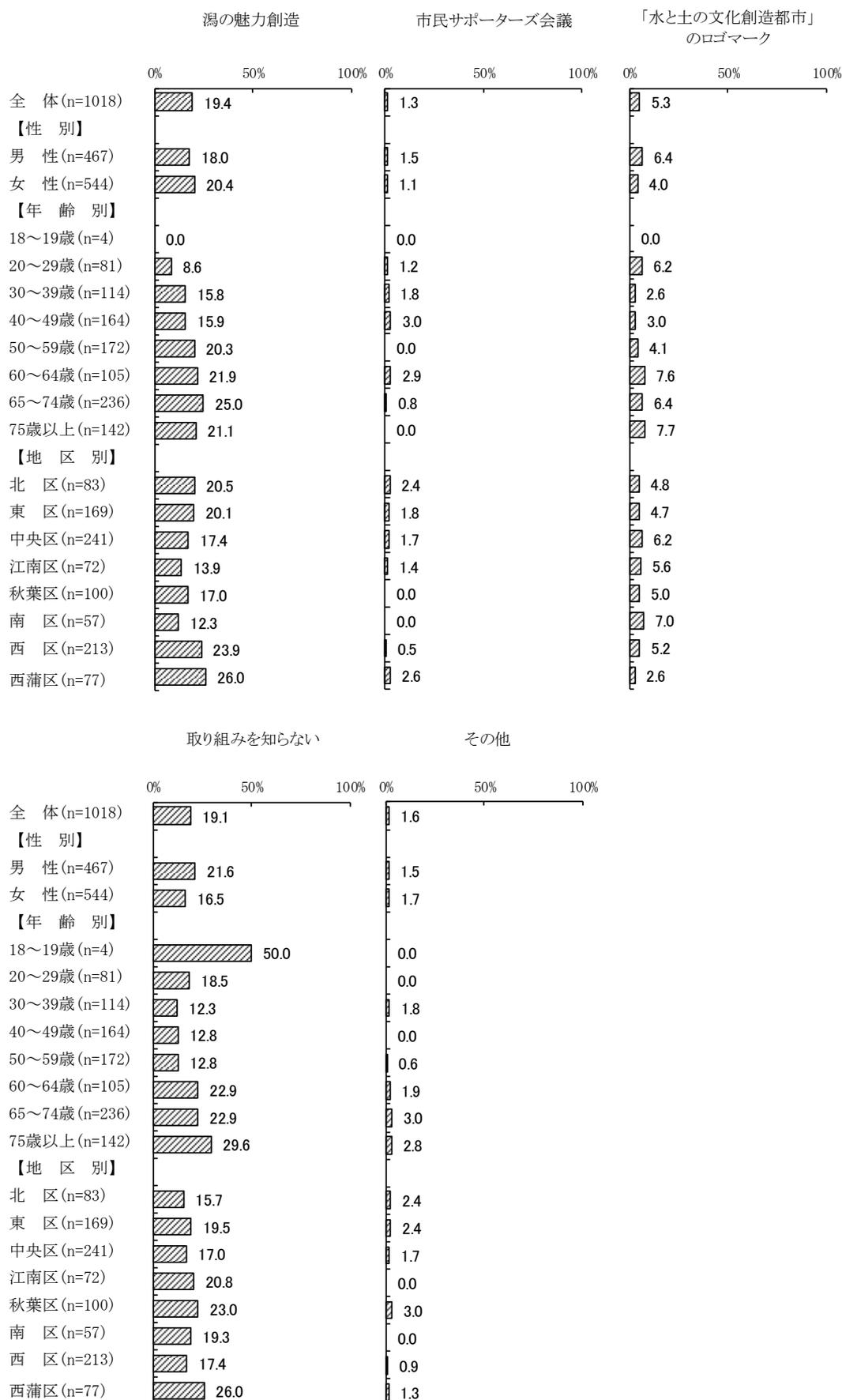
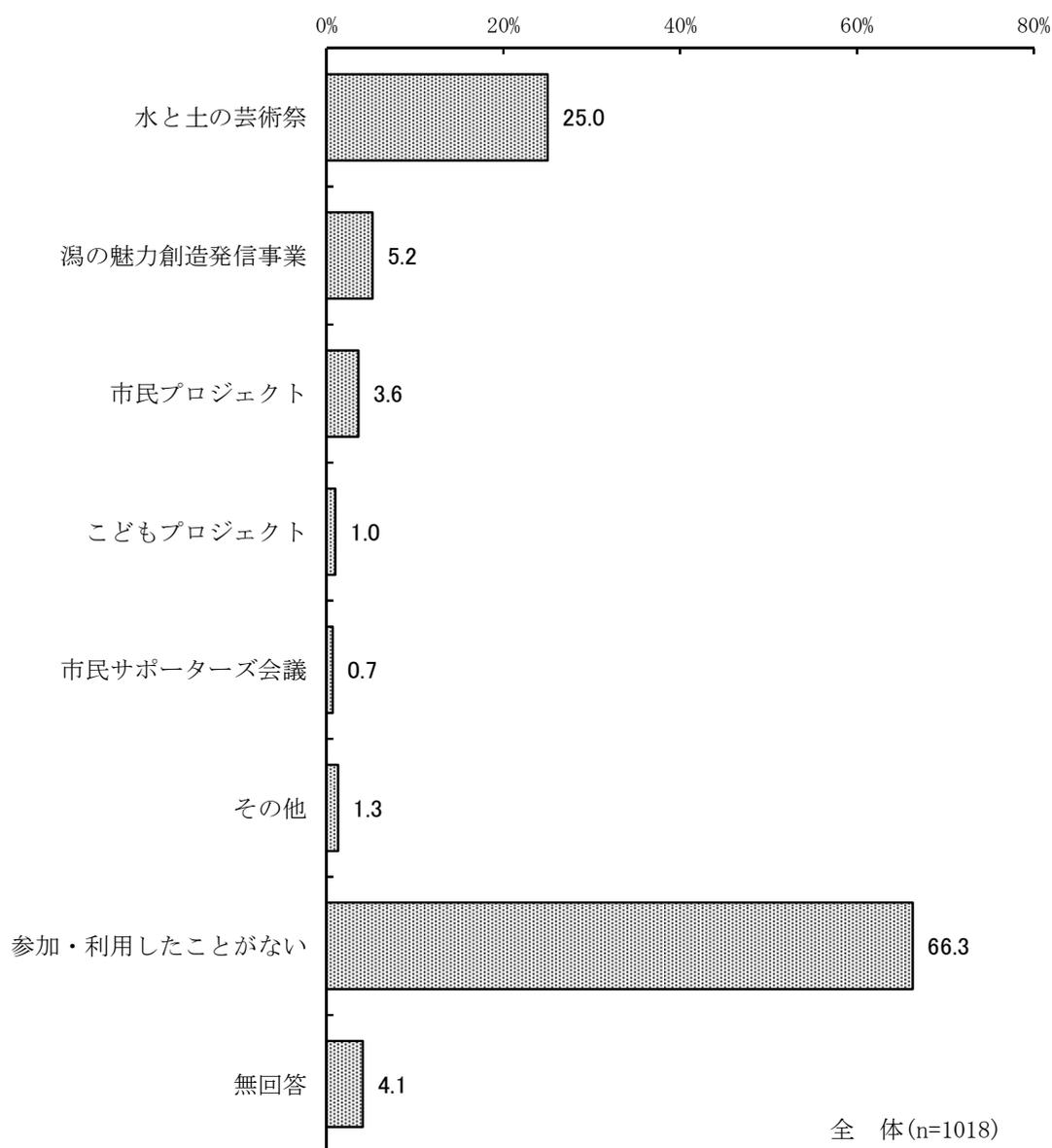


図 2-1 水と土の文化創造都市に関する取り組みの認知状況 2/2



## (2) 水と土の文化創造都市に関する取り組みへの参加や利用経験

問13 水と土の文化創造都市に関する取り組みのうち、あなたが参加したことや利用したことがあるものはどれですか。（〇はいくつでも）



4人に1人が「水と土の芸術祭」へ参加したことがある

## 【全体結果】

水と土の文化創造都市に関する取り組みへの参加や利用経験（複数回答）については、「水と土の芸術祭」（25.0%）が最も高い。

なお、「参加・利用したことがない」が約3分の2を占め、前問の認知に比べて、参加や利用の経験率には、大きな差がある。

【属性別結果】（図 2-2 参照）

①性別

男女による、大きな差はない。

②年齢別

「水と土の芸術祭」への参加や利用の経験率は50代が最も高い。

③地区別

「水と土の芸術祭」への参加や利用の経験率が最も高いのは中央区、最も低いのは南区である。

図 2-2 水と土の文化創造都市に関する取り組みへの参加や利用経験 1/2

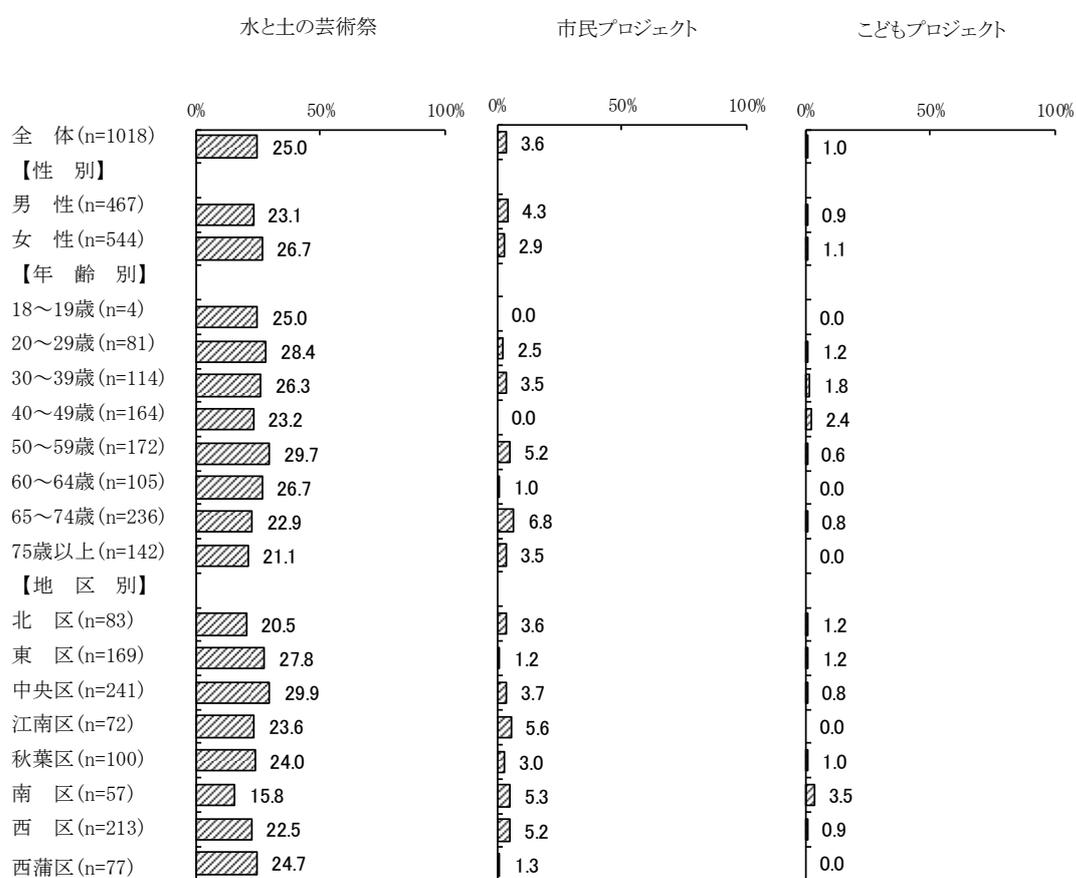
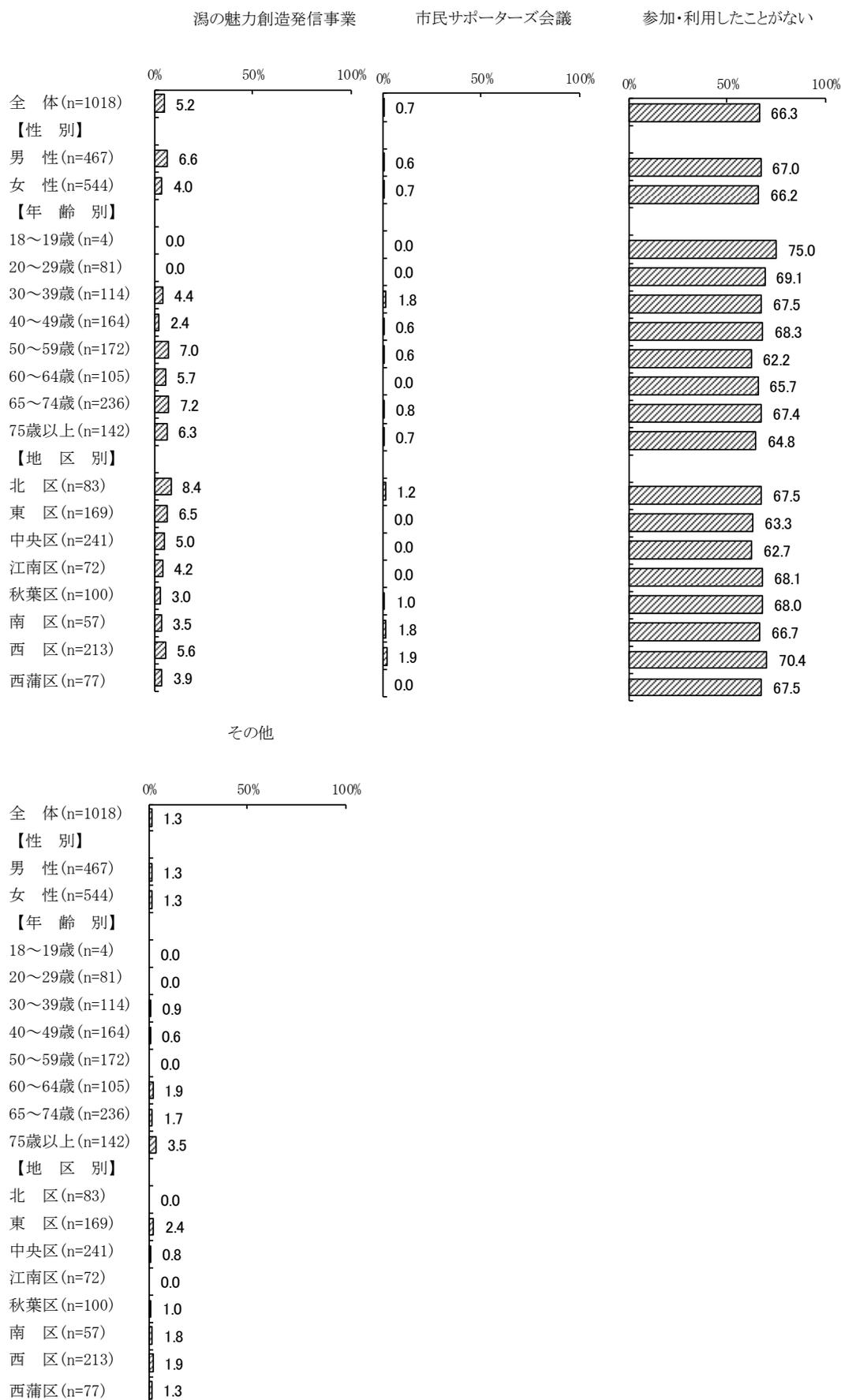
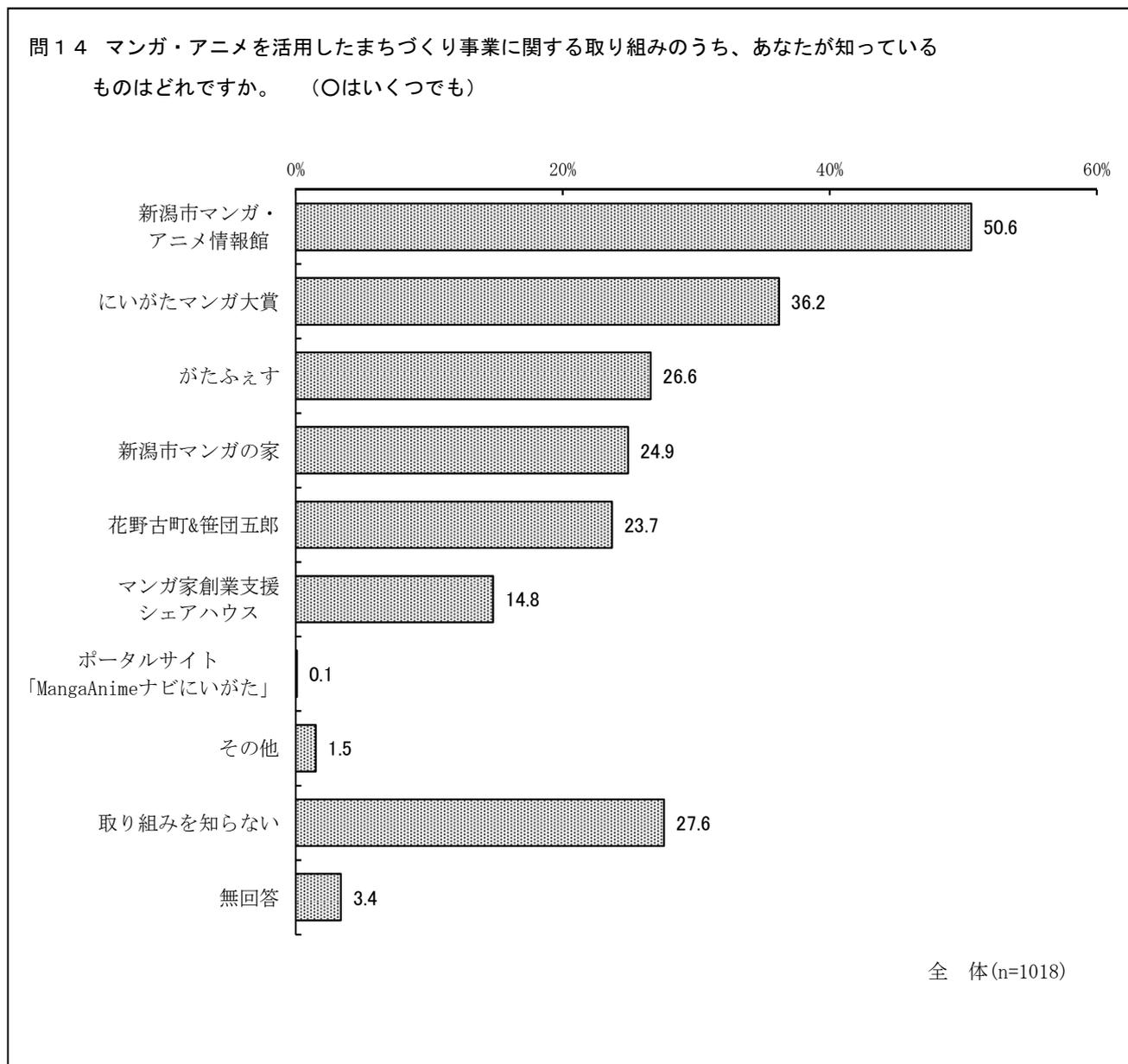


図2-2 水と土の文化創造都市に関する取り組みへの参加や利用経験 2/2



### 3. マンガ・アニメを活用したまちづくりについて

#### (1) マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みの認知状況



半数が「新潟市マンガ・アニメ情報館」を知っている

#### 【全体結果】

マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みの認知状況（複数回答）については、「新潟市マンガ・アニメ情報館」（50.6%）が約5割、「にいがたマンガ大賞」（36.2%）がこれに次ぐ。

【属性別結果】（図 3-1 参照）

①性別

全般的に女性の認知が男性よりも高くなっている。

②年齢別

「取り組みを知らない」は65歳以上で特に高くなっている。

③地区別

全体結果で最も割合の高かった「新潟市マンガ・アニメ情報館」については、中央区が最も高い。

図 3-1 マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みの認知状況 1/2

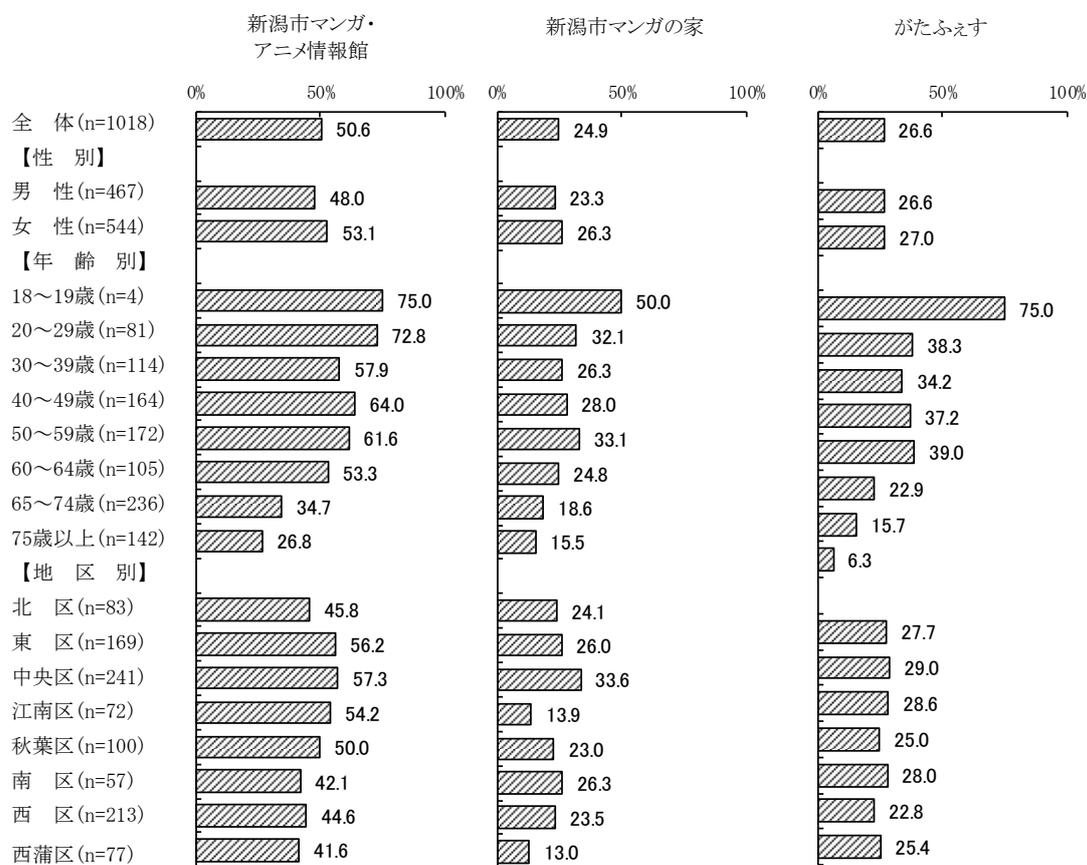
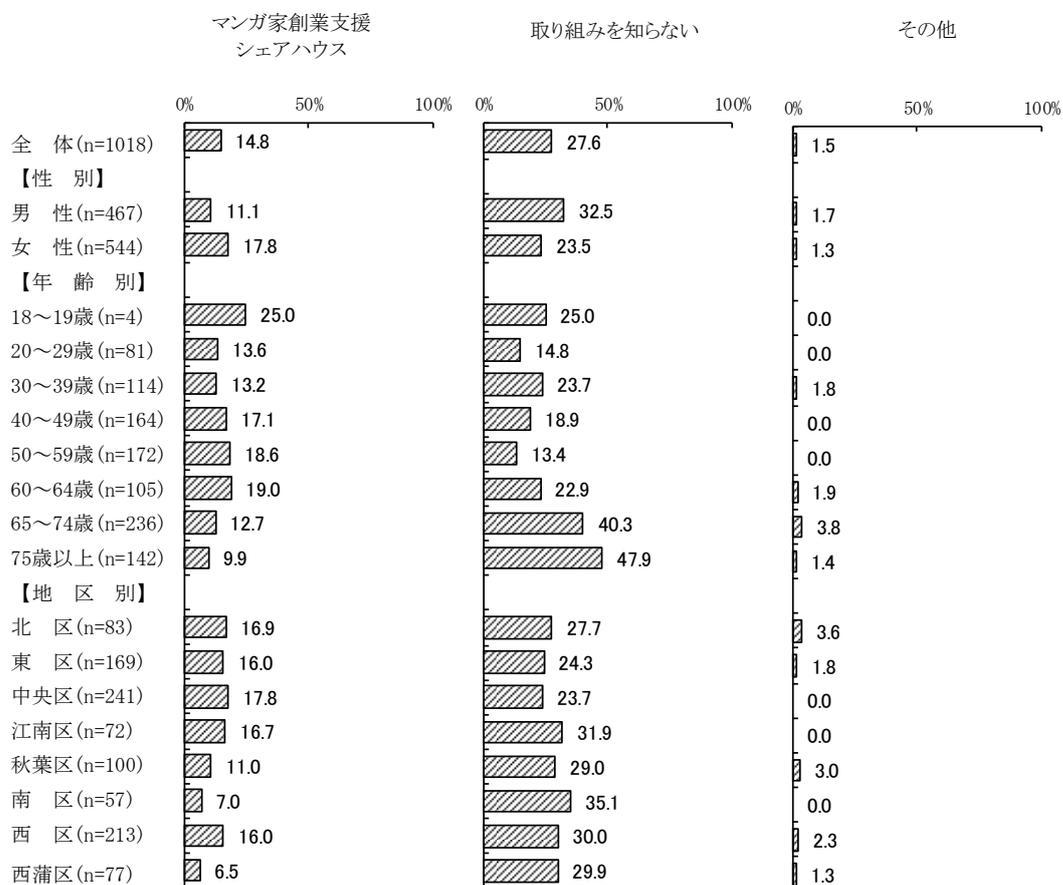
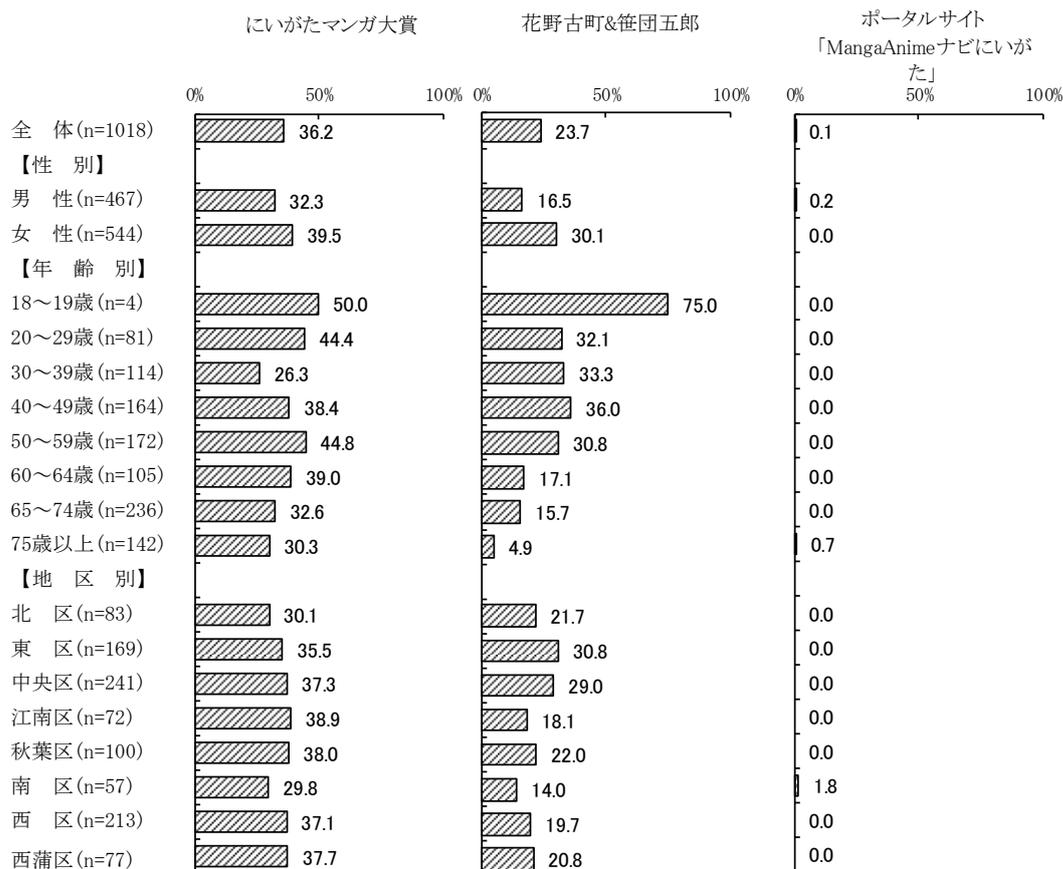
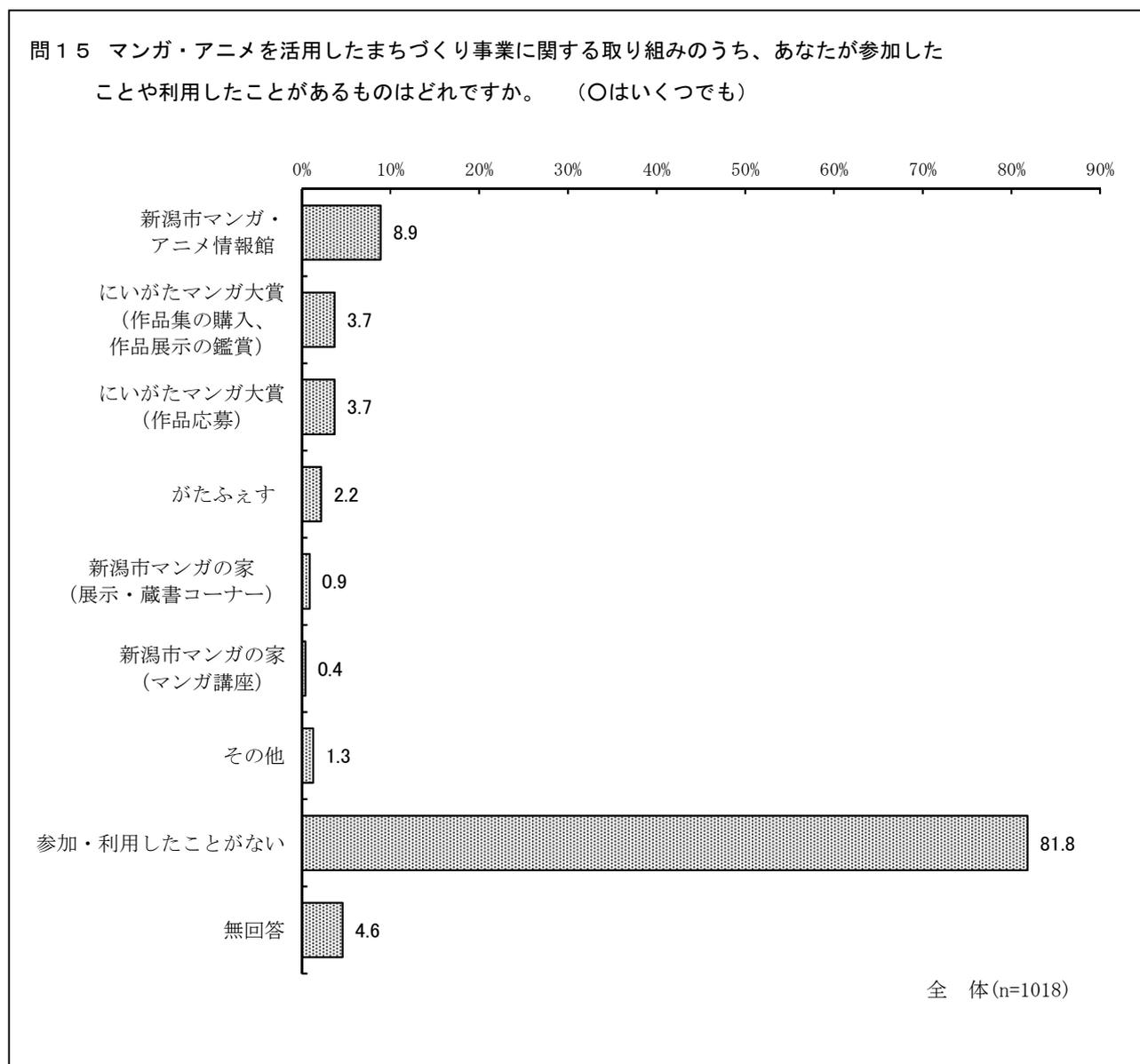


図3-1 マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みの認知状況 2/2



## (2) マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みへの参加や利用経験



参加や利用経験者が最も多いのは「新潟市マンガ・アニメ情報館」

## 【全体結果】

マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みへの参加や利用経験（複数回答）については、新潟市マンガ・アニメ情報館（8.9%）が最も高い。

なお、「参加・利用したことがない」が8割以上を占め、前問の認知に比べて、参加や利用の経験率は大きく低下している。

【属性別結果】（図 3-2 参照）

①性別

男女による、大きな差はない。

②年齢別

全体結果で最も参加や利用の割合が高かった「新潟市マンガ・アニメ情報館」についてみると、若年齢層ほど割合が高くなる傾向がある。

③地区別

「新潟市マンガ・アニメ情報館」の参加や利用の割合は東区が最も高い。

図 3-2 マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みへの参加や利用経験 1/2

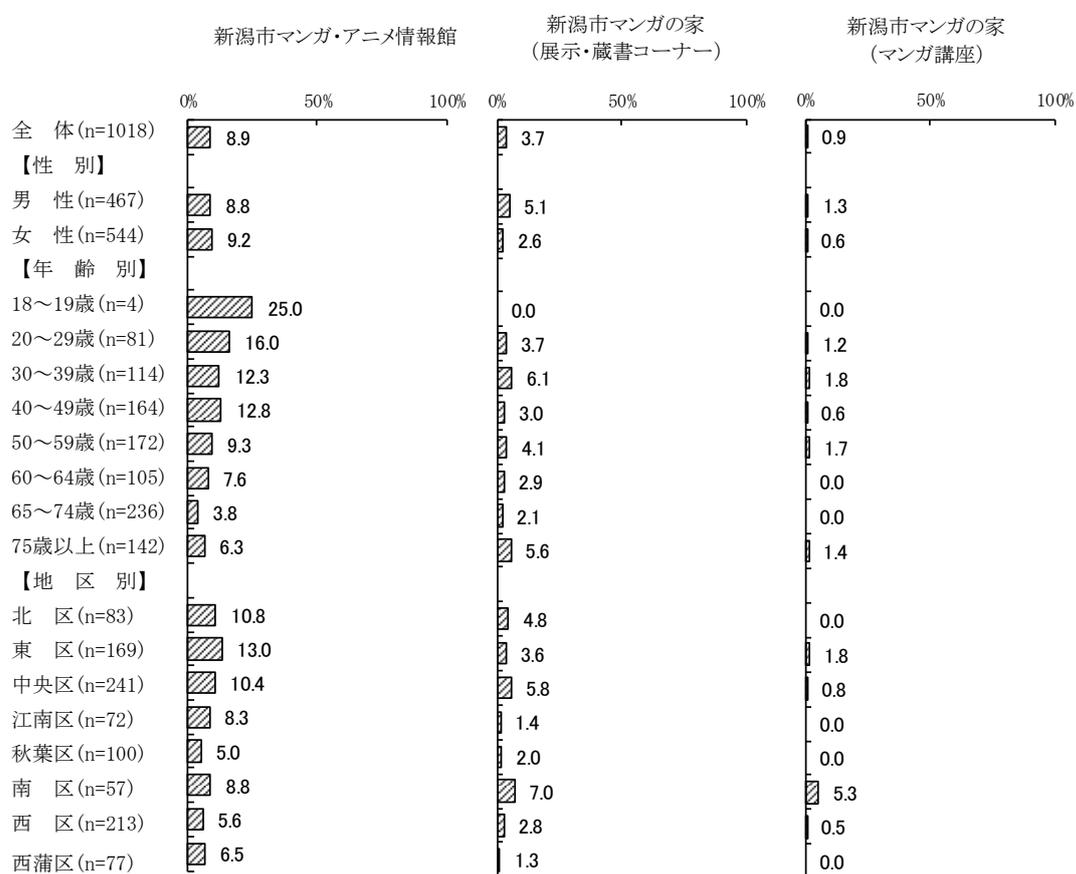
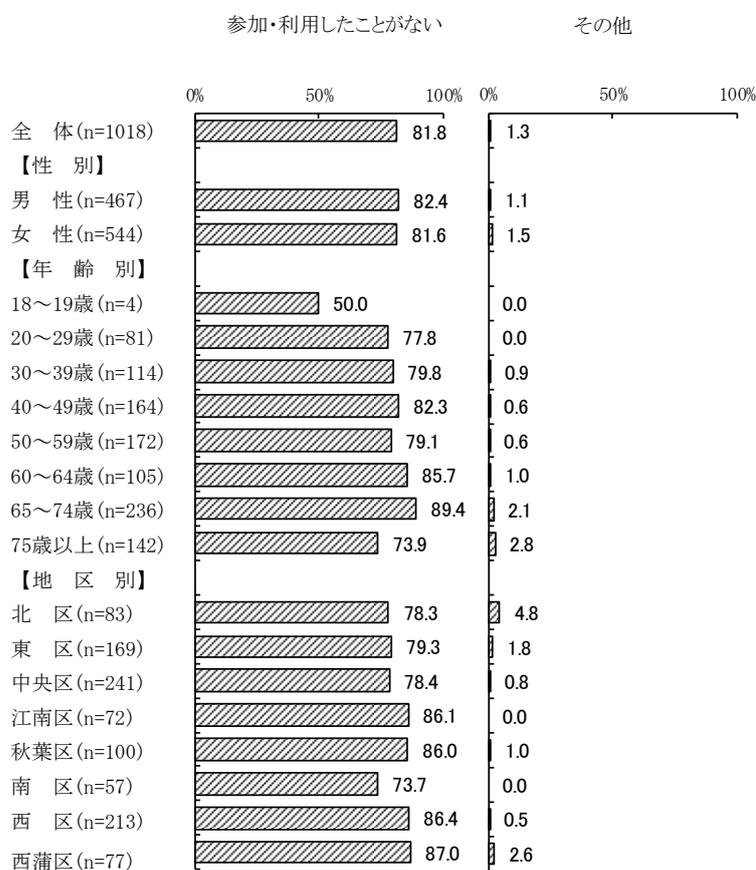
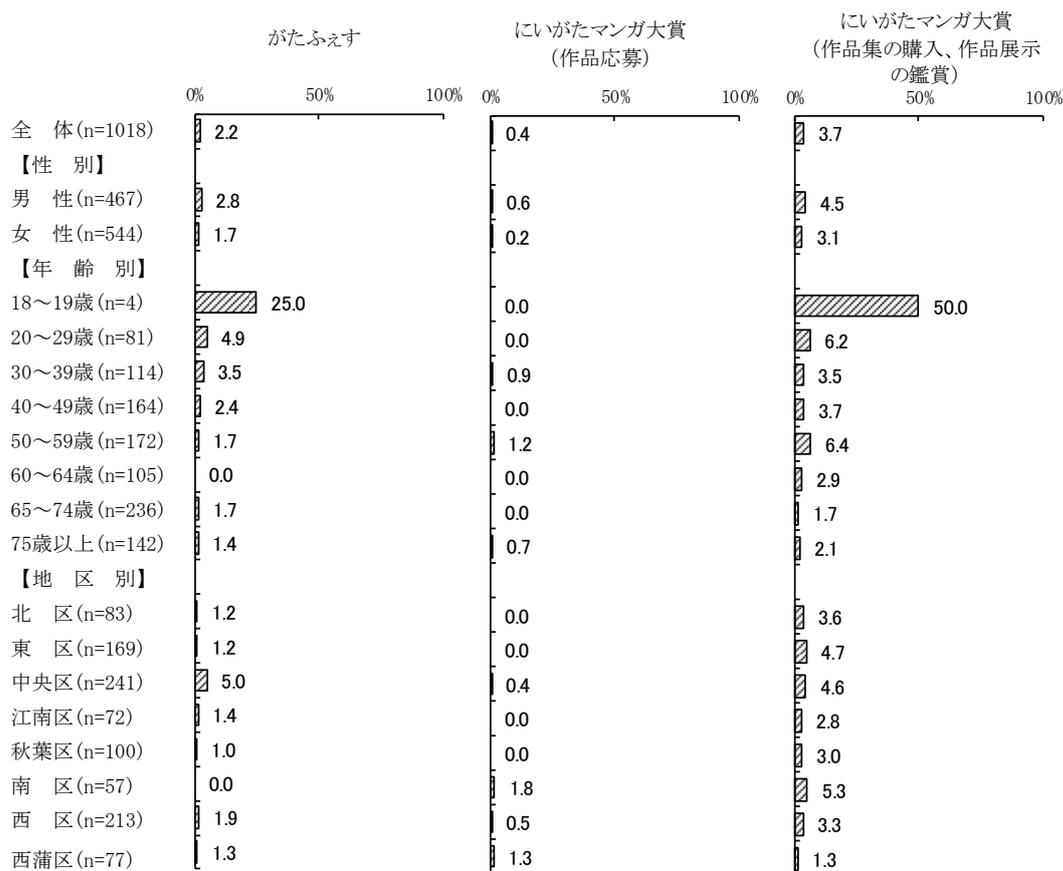
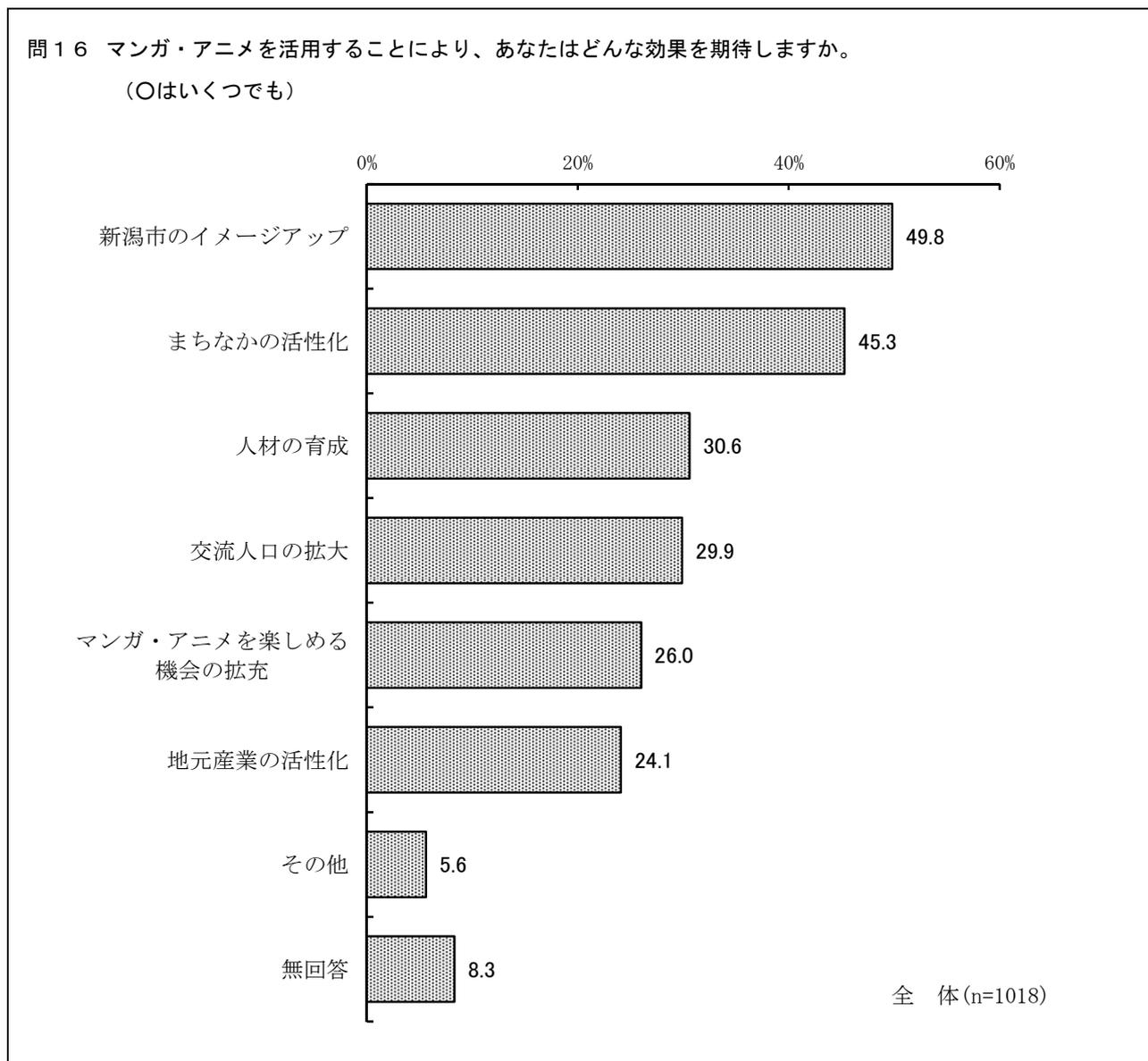


図3-2 マンガ・アニメを活用したまちづくりの取り組みへの参加や利用経験 2/2



## (3) 期待するマンガ・アニメを活用した効果について



## 「新潟市のイメージアップ」への期待が半数

## 【全体結果】

期待する効果（複数回答）については、「新潟市のイメージアップ」（49.8%）が約5割で最も高く、「まちなかの活性化」（45.3%）が次いで高い。

【属性別結果】（図 3-3 参照）

①性別

「交流人口の拡大」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

②年齢別

「マンガ・アニメを楽しめる機会の拡充」は 20 代で 4 割を超えている。

③地区別

「マンガ・アニメを楽しめる機会の拡充」は北区（31.3%）が最も高く、西区（22.5%）が最も低い。両区間の差は 8.8 ポイントである。

図 3-3 期待するマンガ・アニメを活用した効果について 1/2

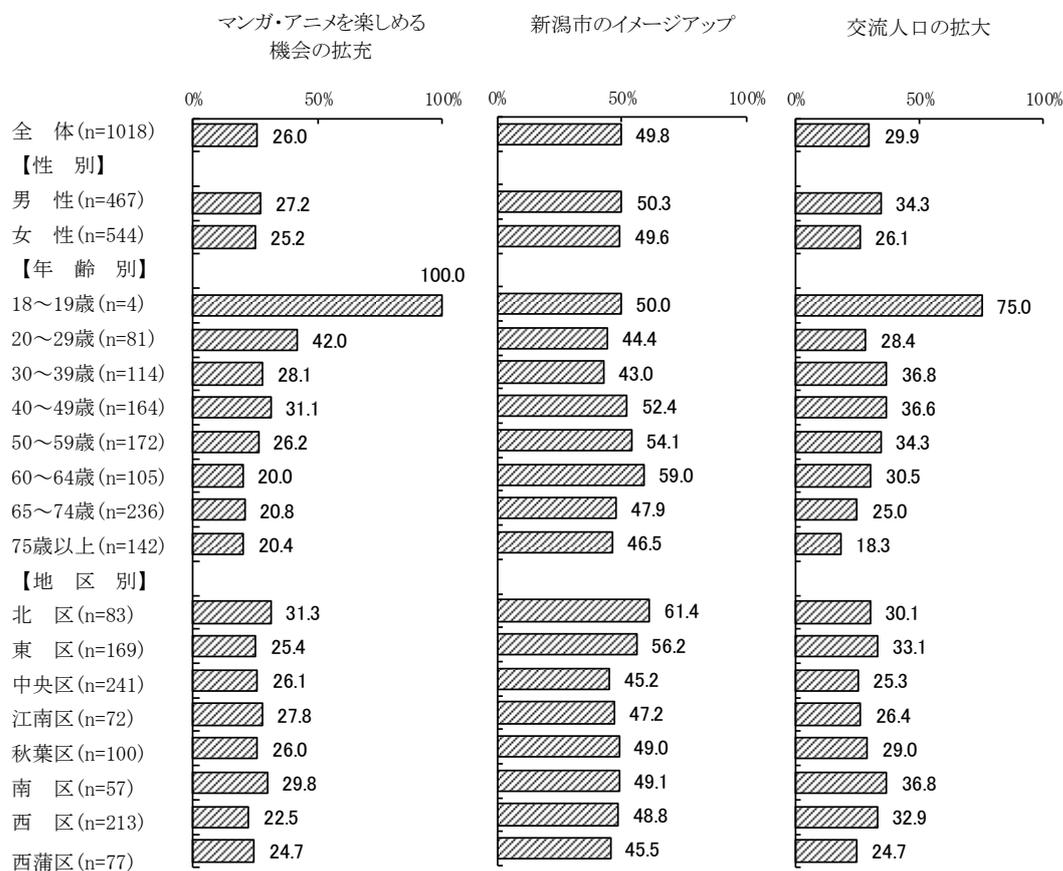
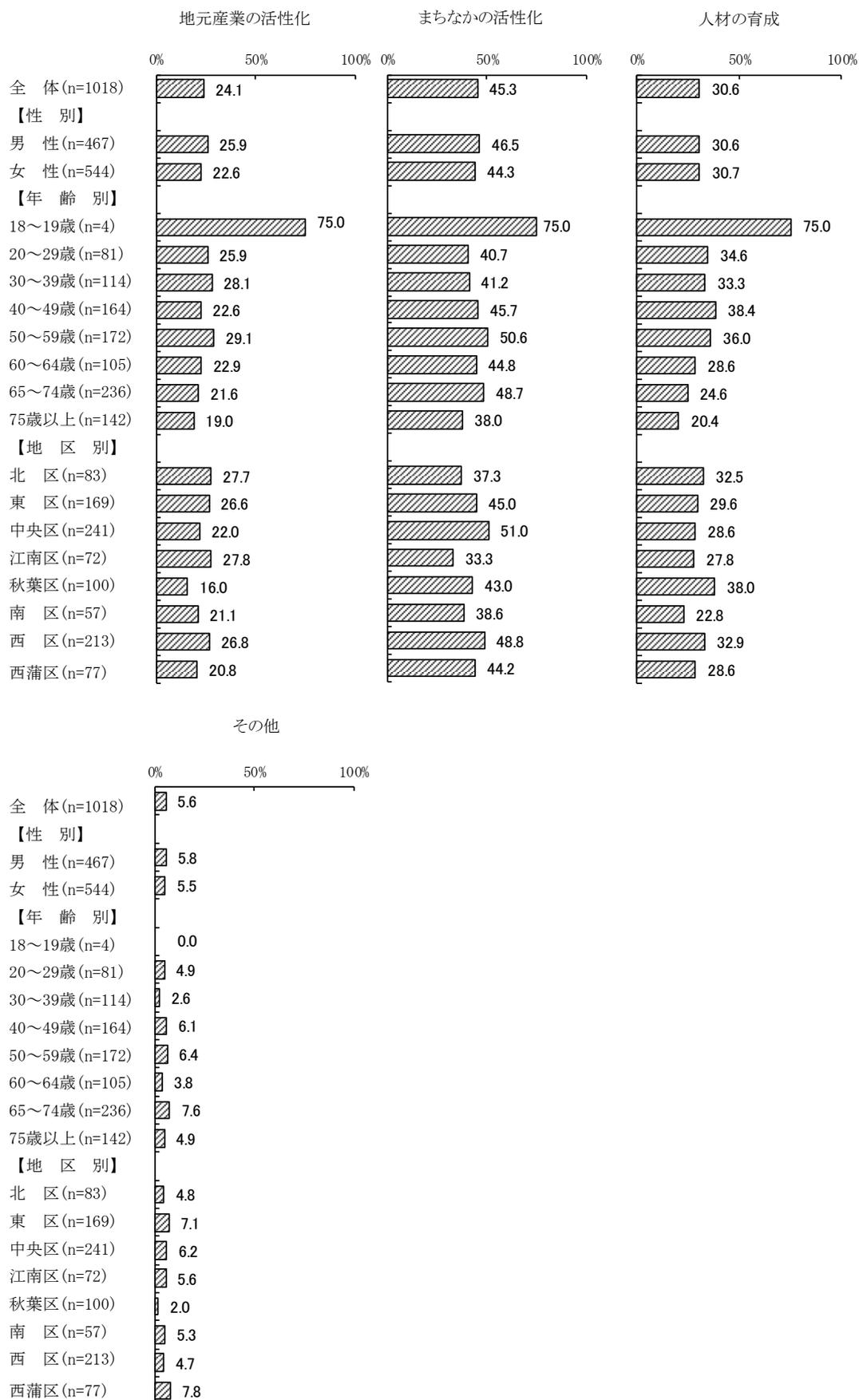


図3-3 期待するマンガ・アニメを活用した効果について 2/2



### Ⅲ 調査票



## 文化に関する市民アンケート調査

発 行 平成 28 年 8 月

調査主体 新潟市 文化スポーツ部 文化政策課  
新潟市中央区学校町通一番町 602 番地 1  
電話 025-226-2565 (直通)

調査実施 株式会社 I T スクエア IT サービス部  
新潟市中央区万代 3 丁目 1 番 1 号  
メディアシップ 13F  
電話 025-243-0240 (代表)